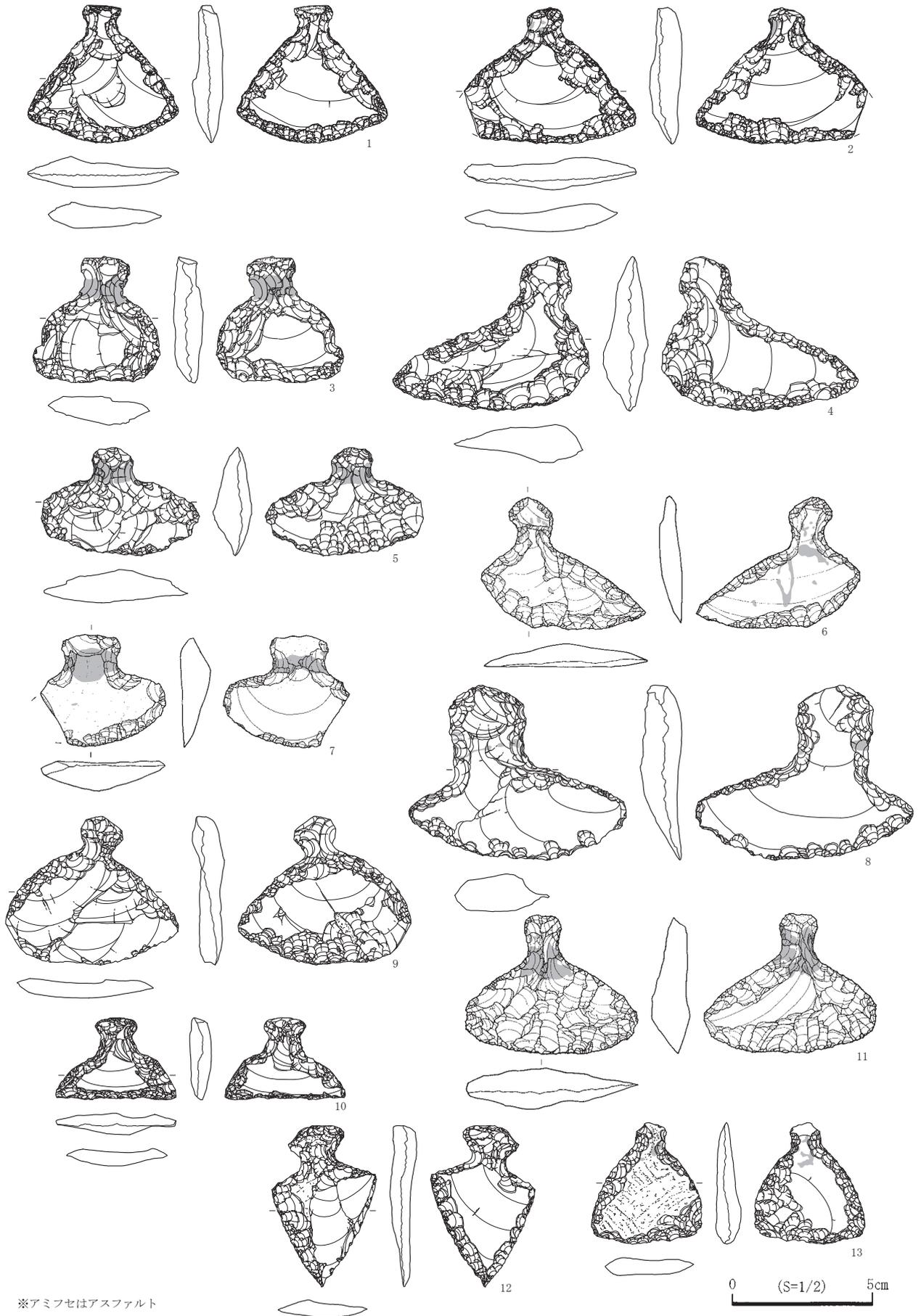
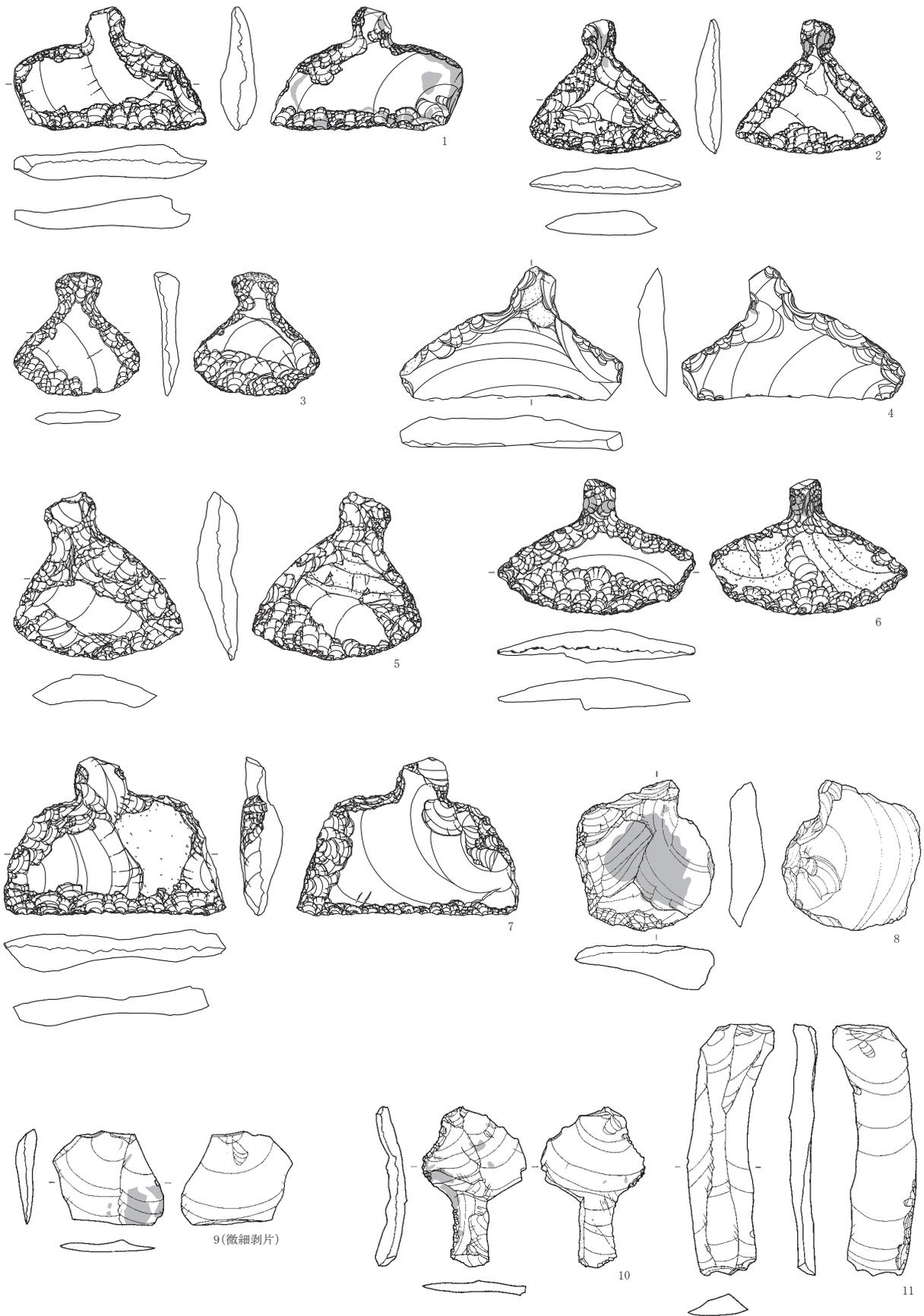


※アミフセはアスファルト

遺物図141 石器(23) 石匙-11



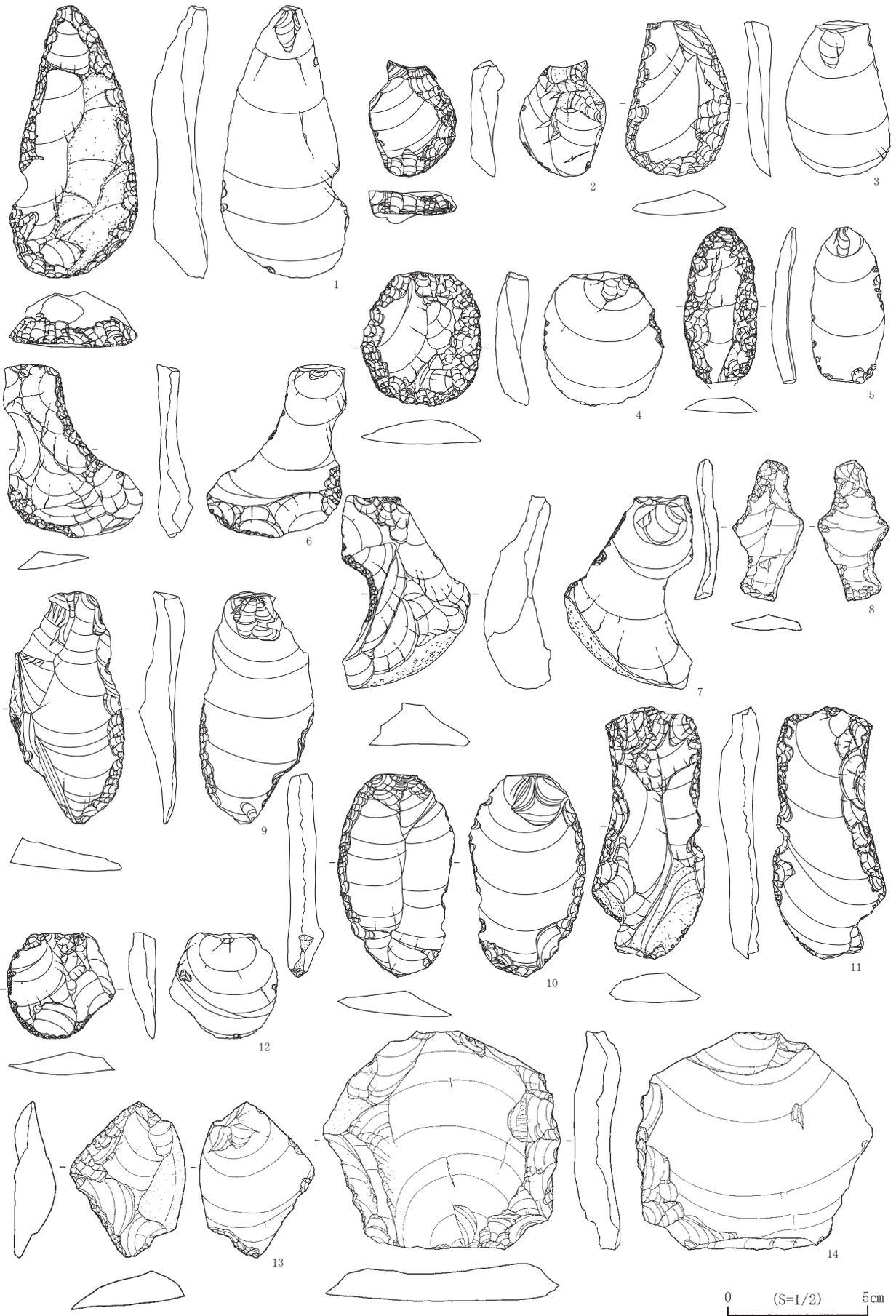
遺物図142 石器(24) 石匙-12



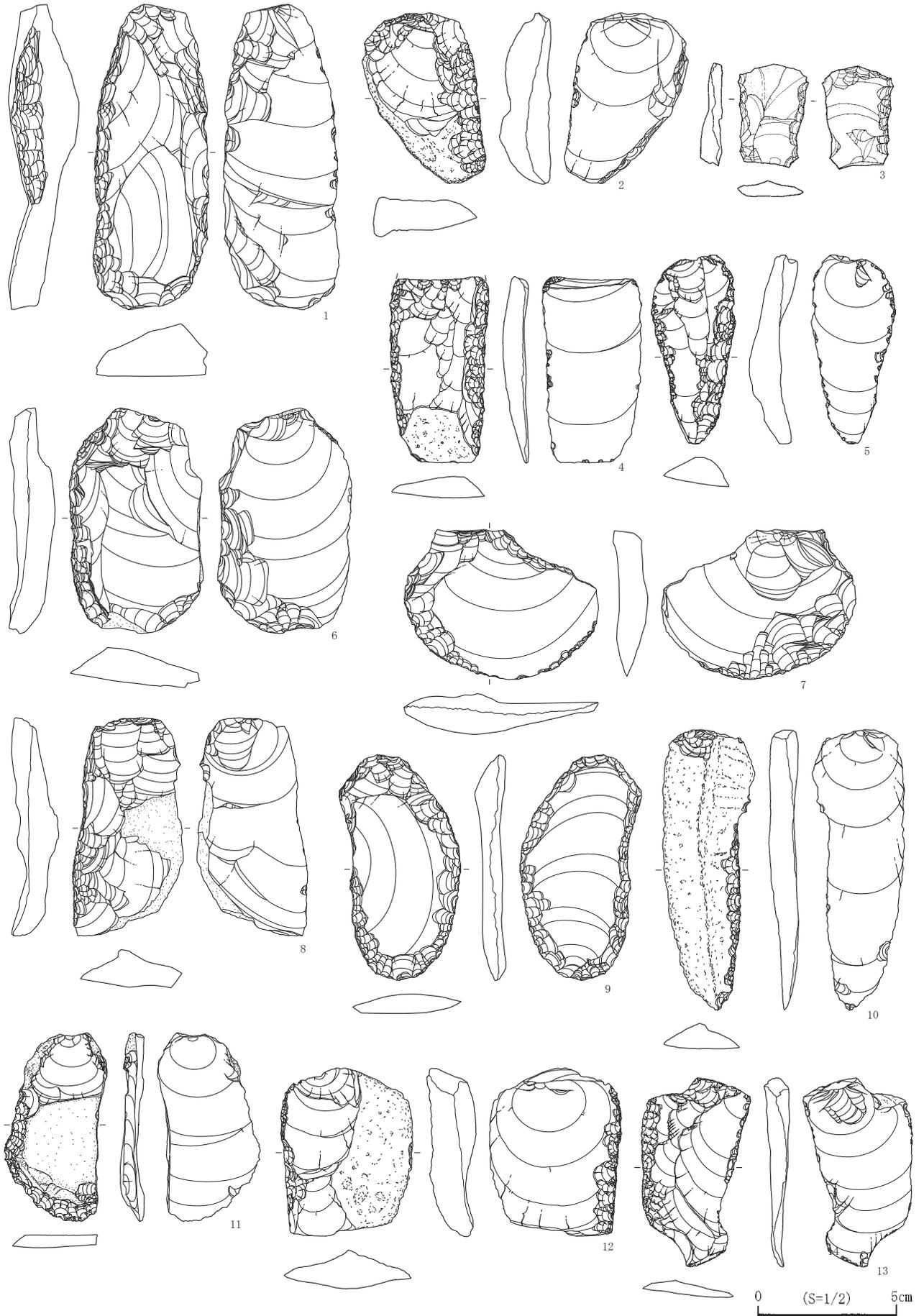
※アミフセはアスファルト

0 (S=1/2) 5cm

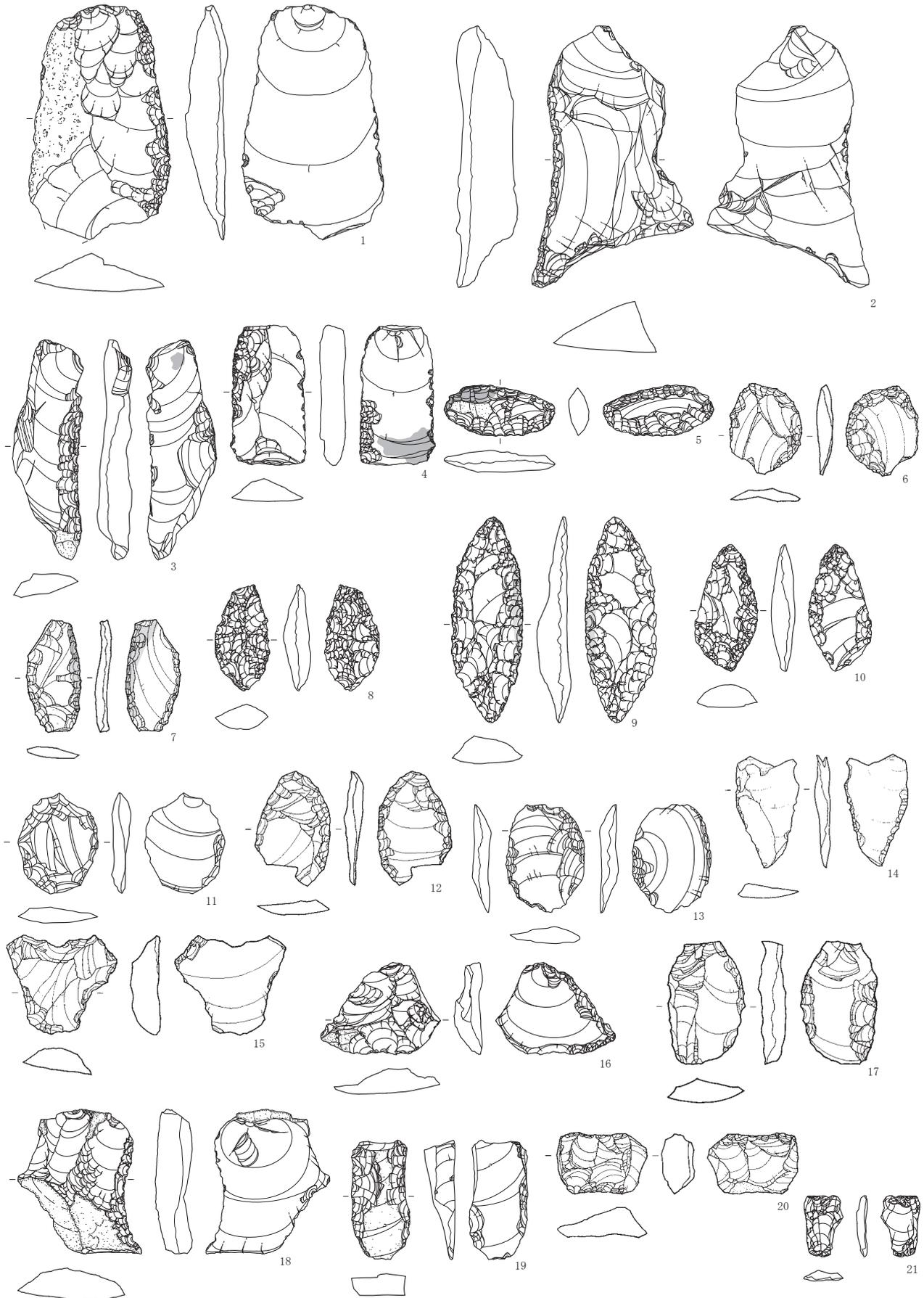
遺物図143 石器(25) 石匙-13・微細剥片・削器-1



遺物図144 石器(26) 搔器-1・削器-2



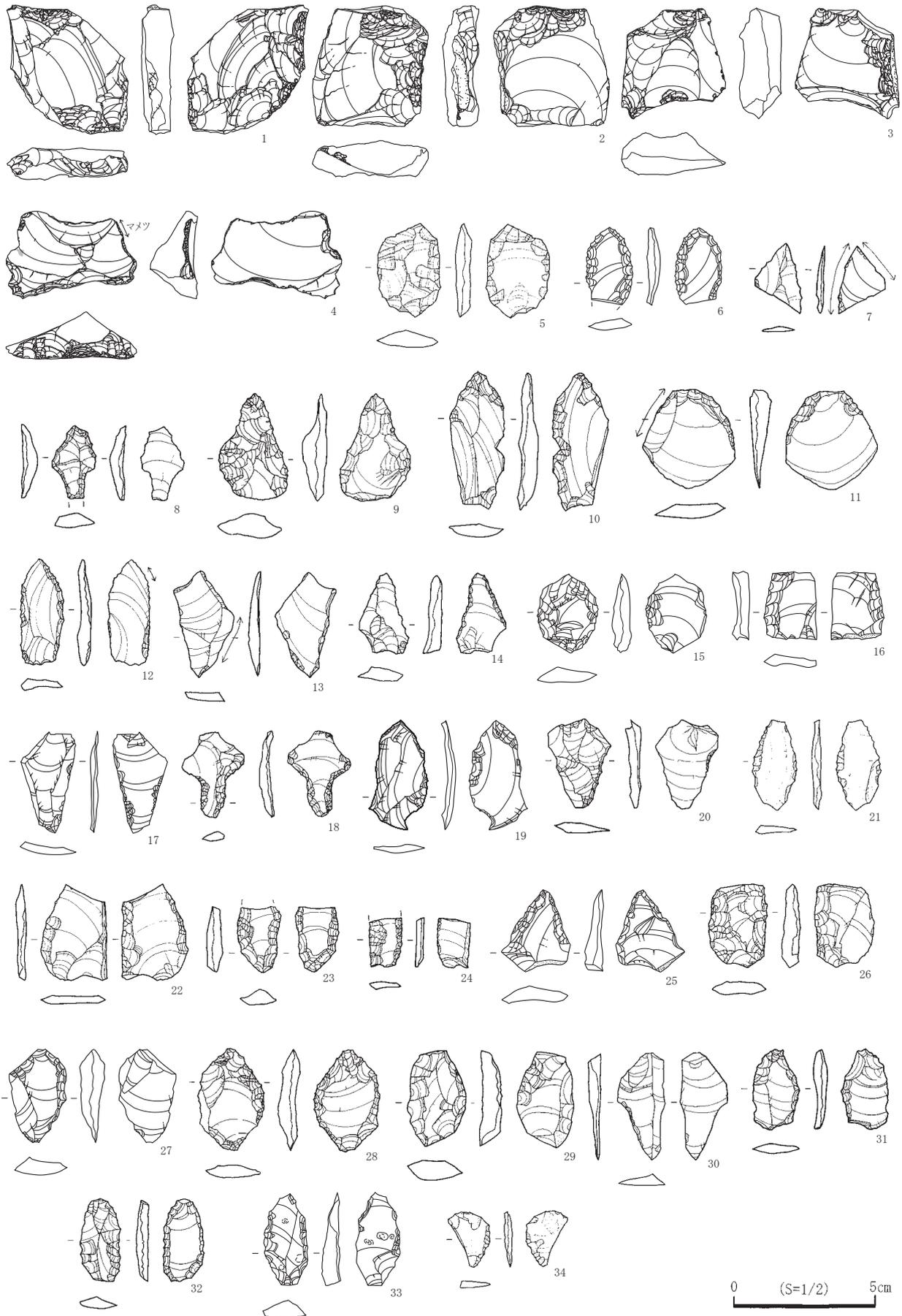
遺物図145 石器(27) 削器-3



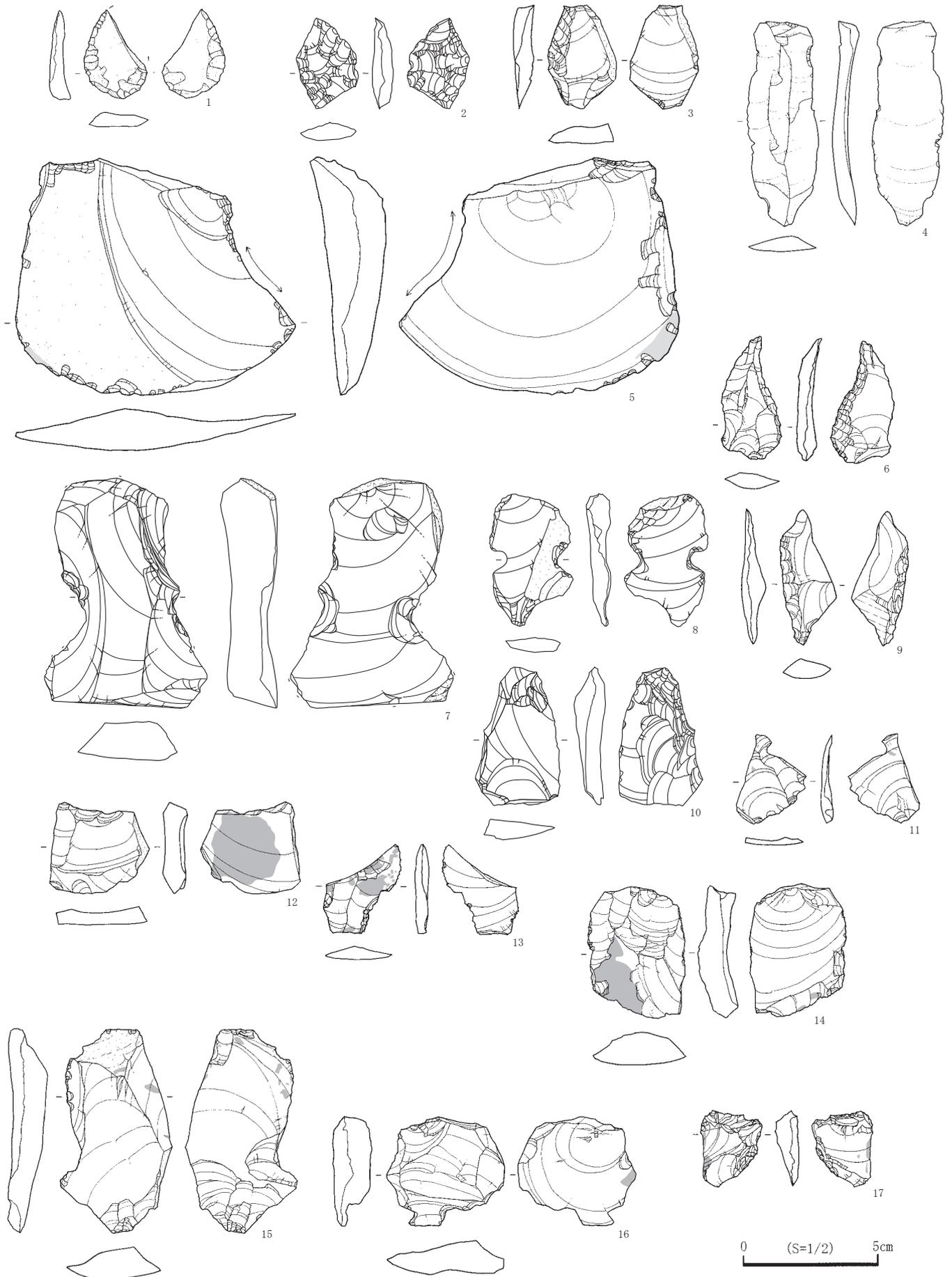
※濃いアマフセはアスファルト、9は光沢範囲

0 (S=1/2) 5cm

遺物図146 石器(28) 削器-4・両極-1



遺物図147 石器(29) 両極-2・二次加工-1

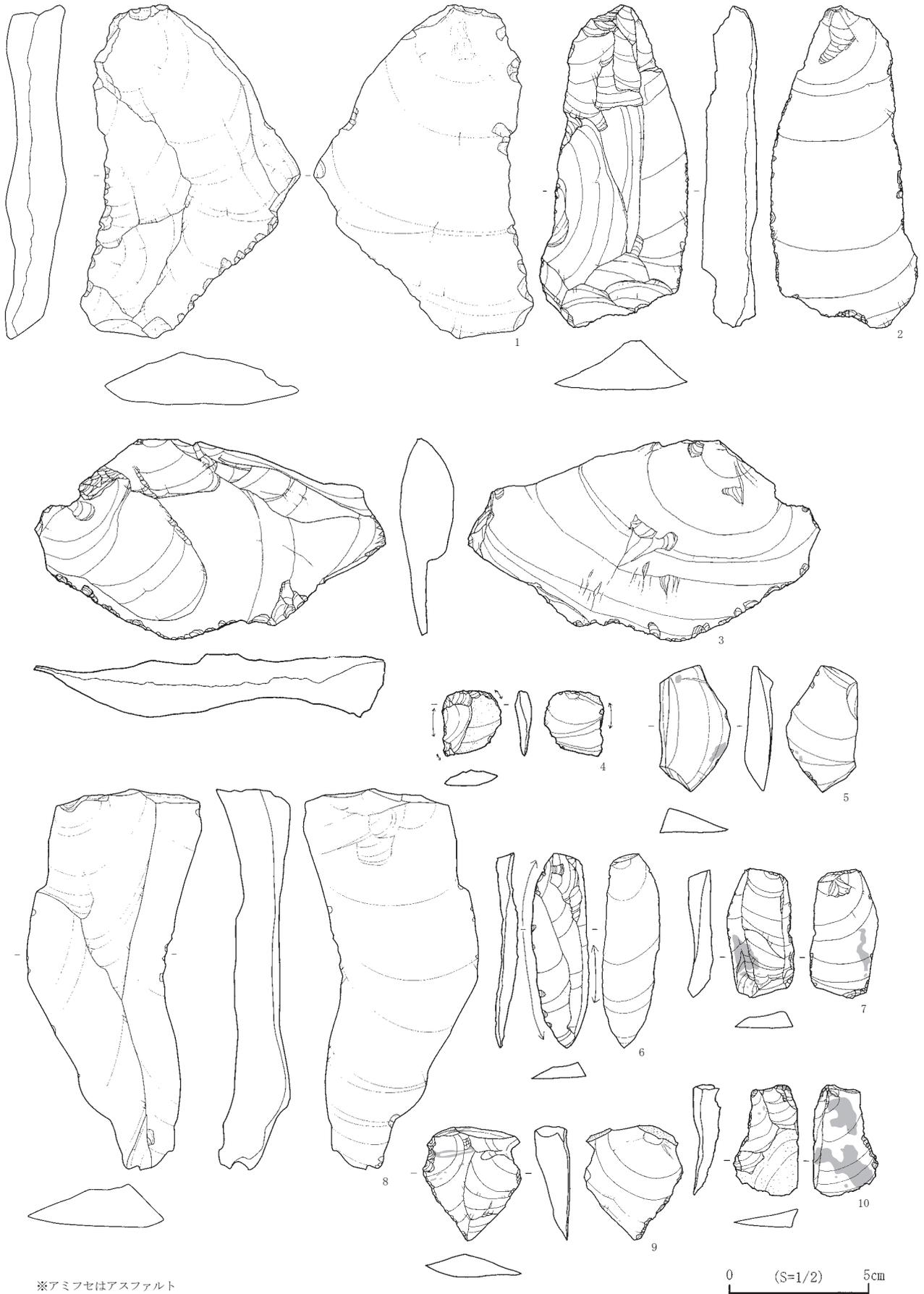


※濃いアミフセはアスファルト
5は光沢範囲

遺物図148 石器(30) 二次加工-2



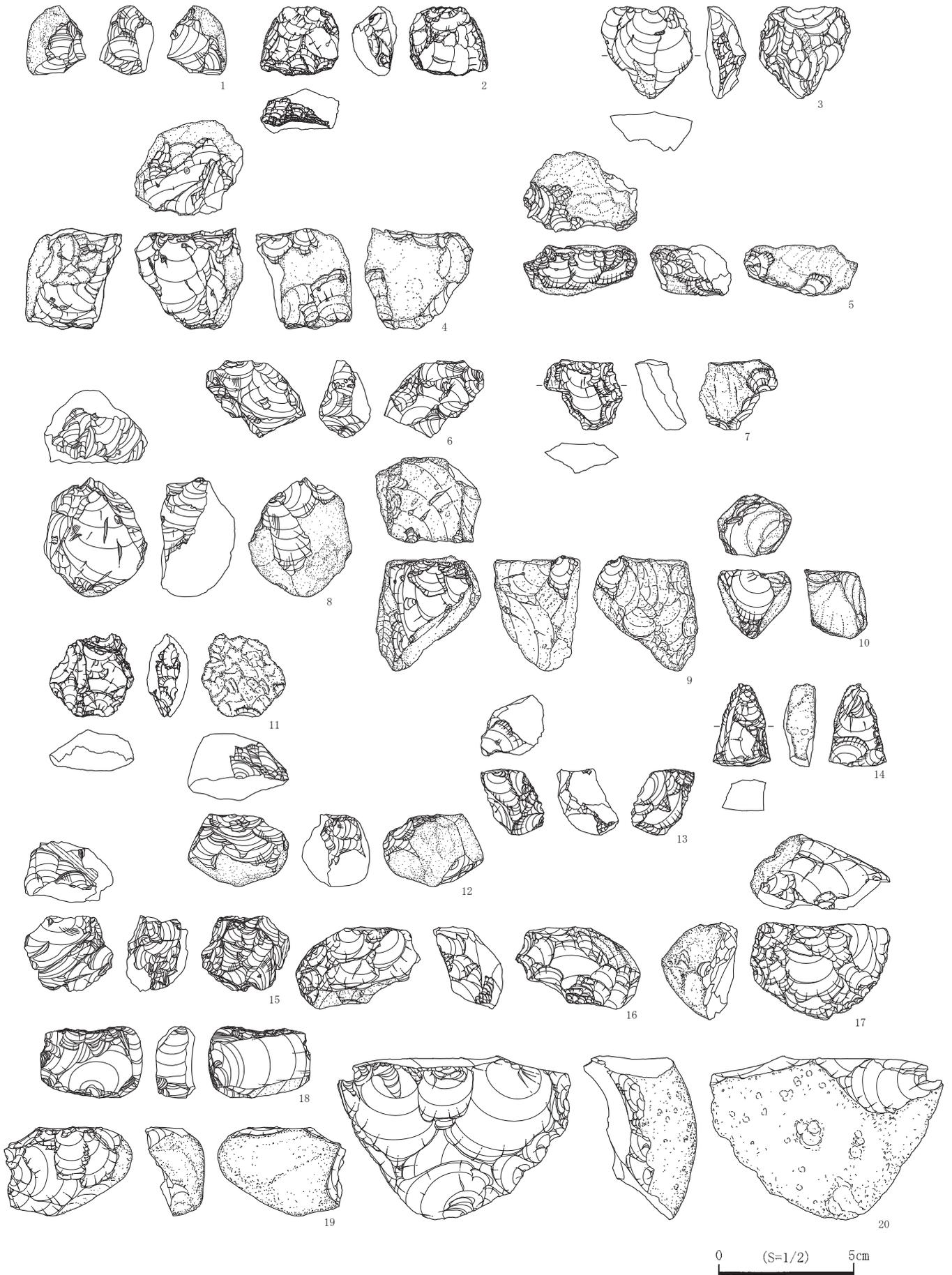
遺物図149 石器(31) 異形石器



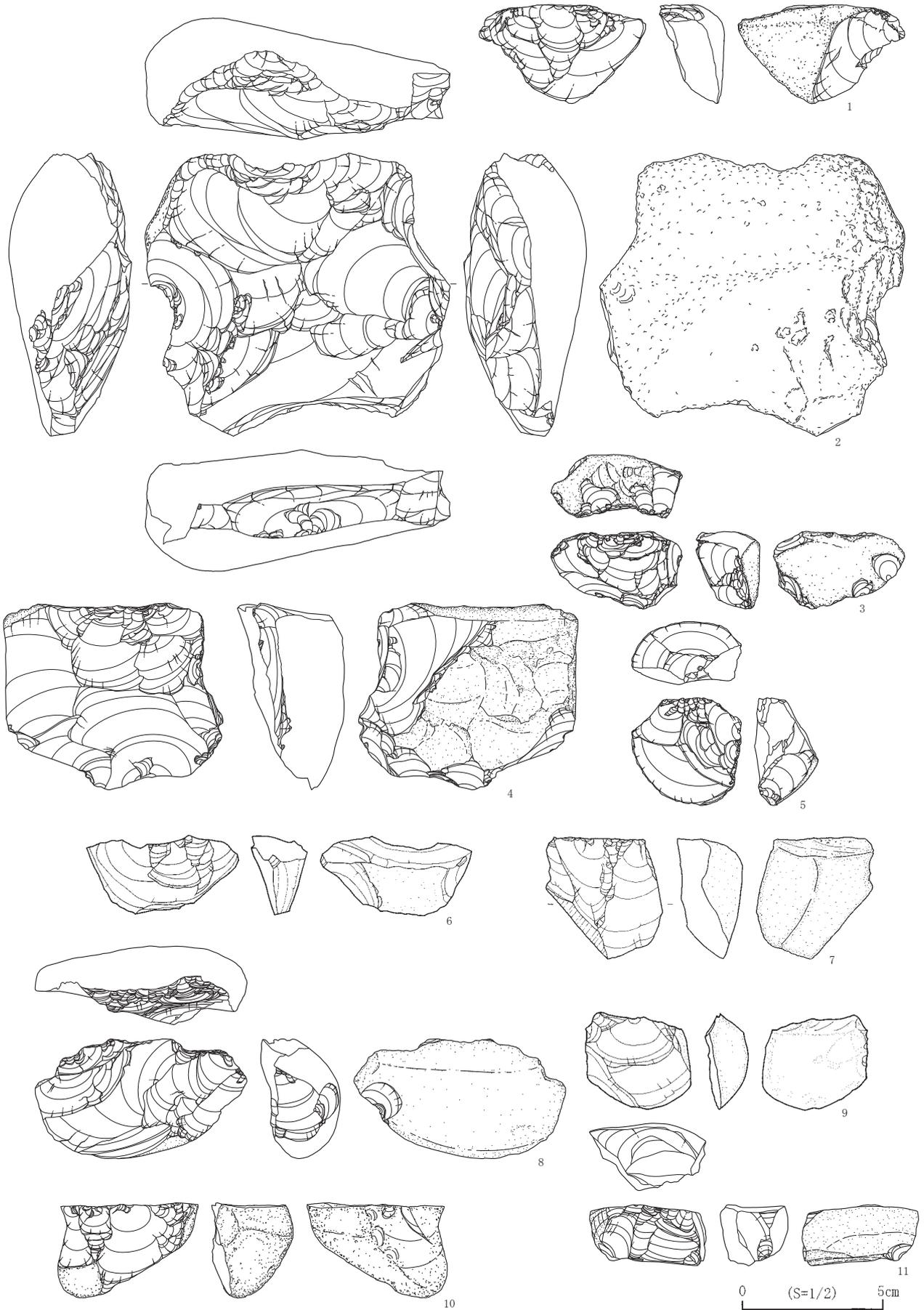
※アミフセはアスファルト

0 (S=1/2) 5cm

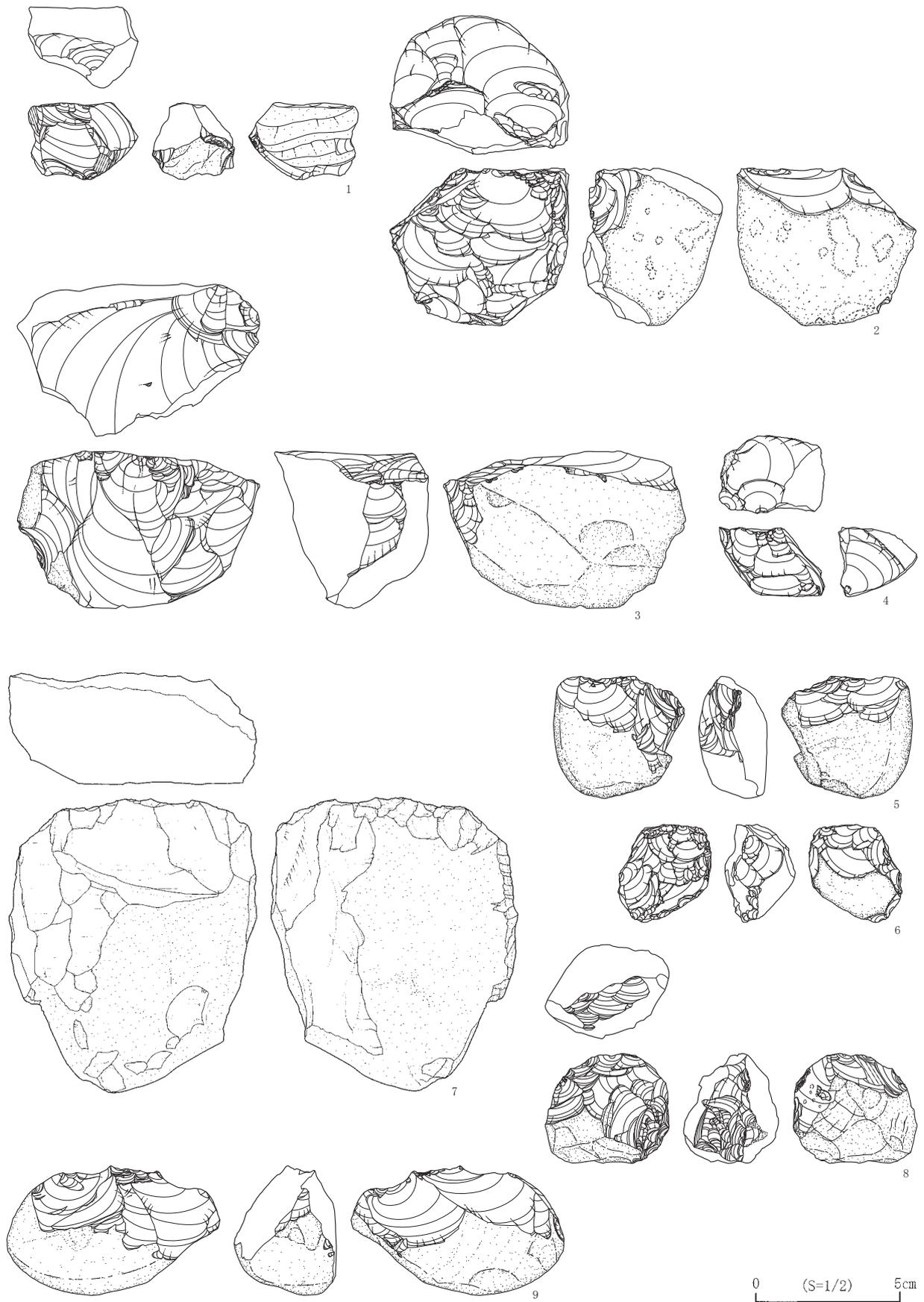
遺物図150 石器(32) 微細剥片



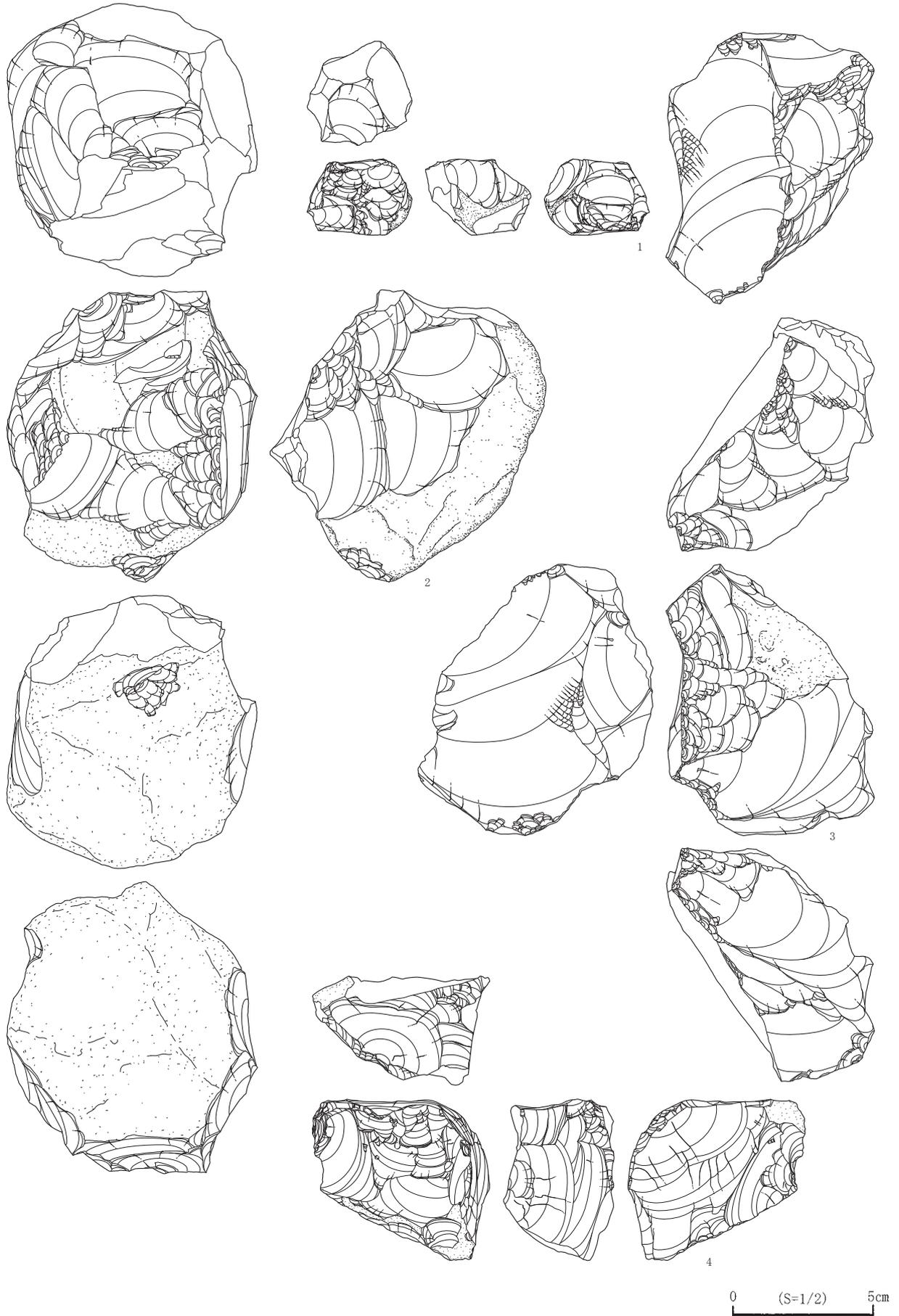
遺物図151 石器(33) 石核-1



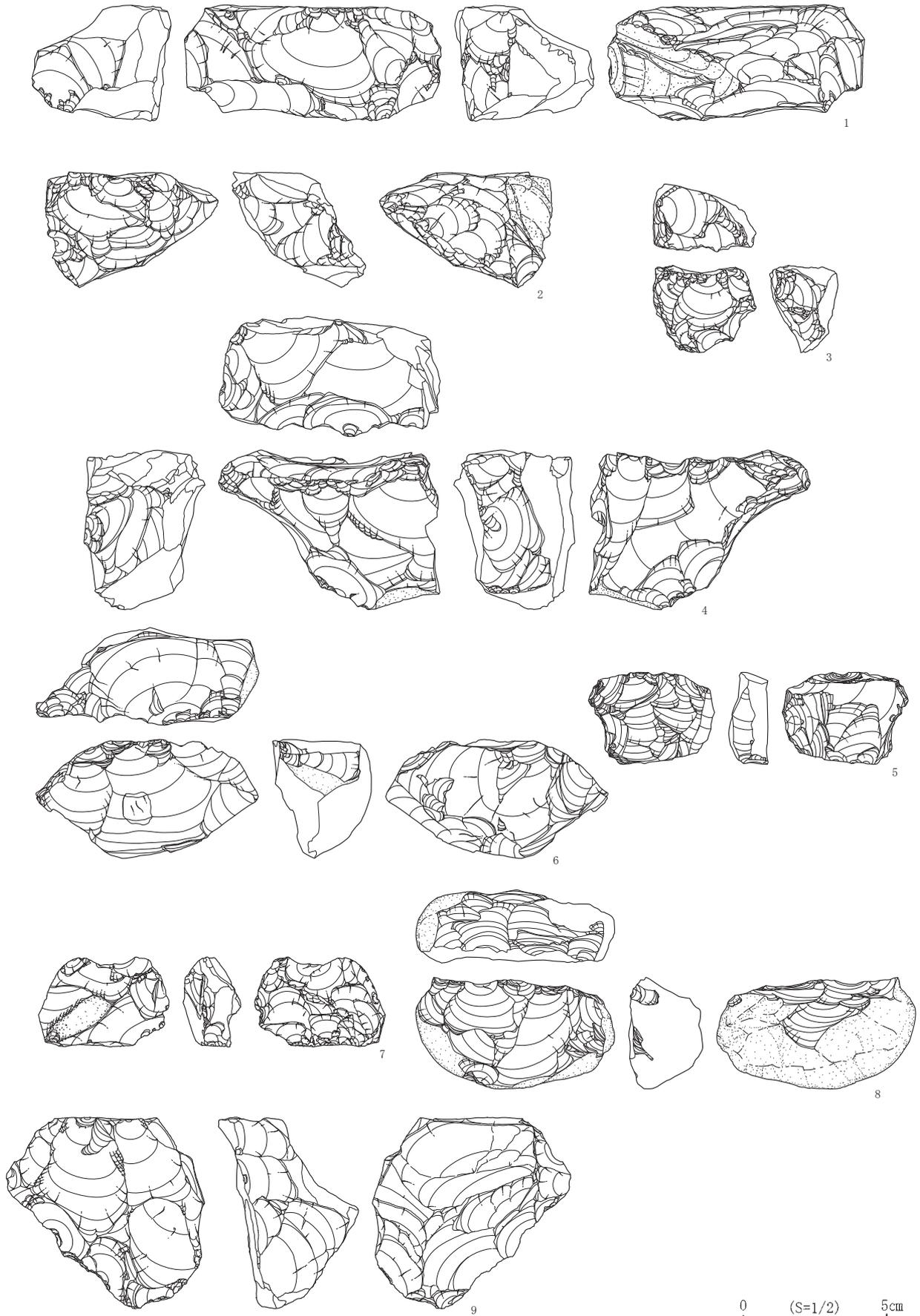
遺物図152 石器(34) 石核-2



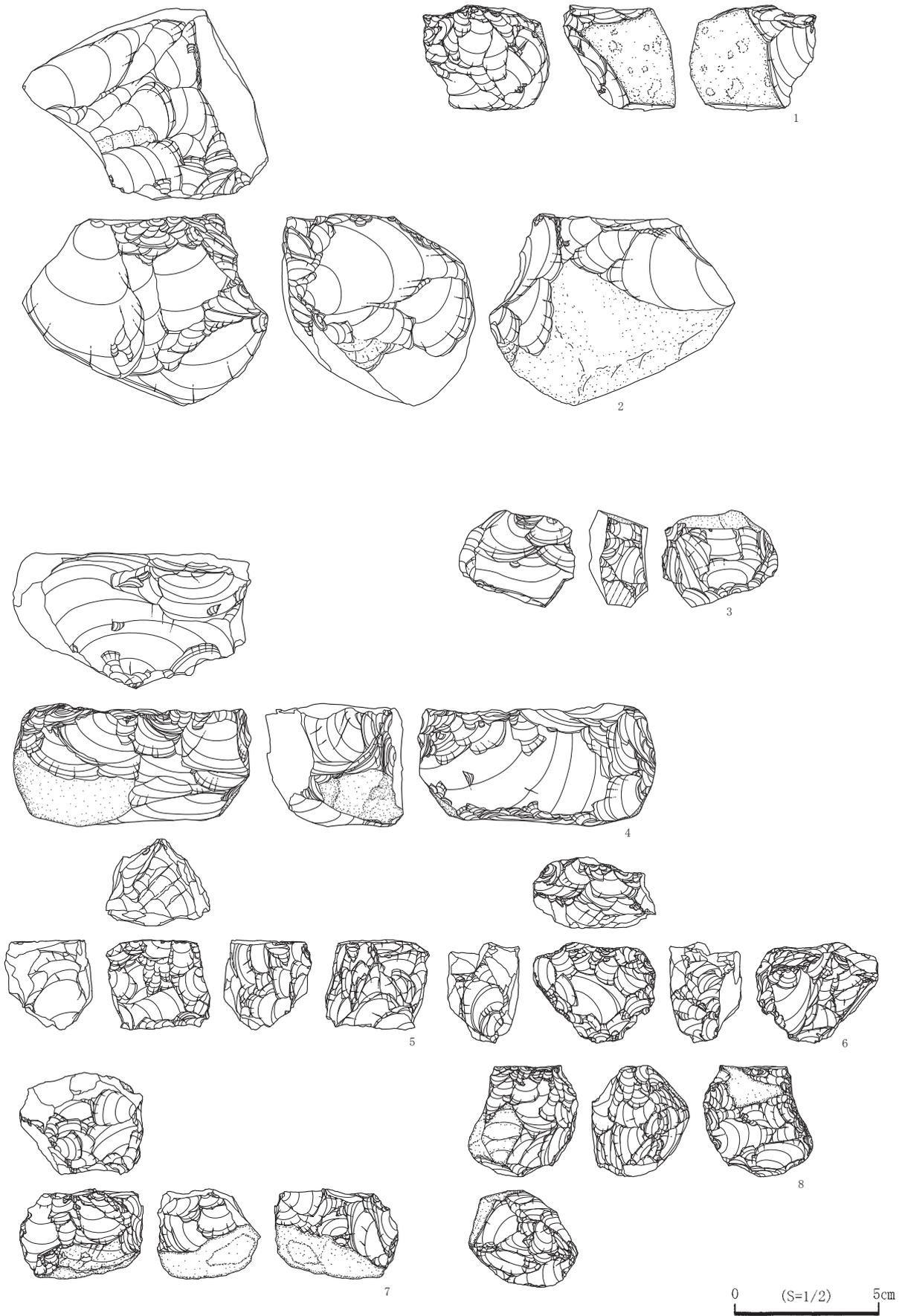
遺物図153 石器(35) 石核-3



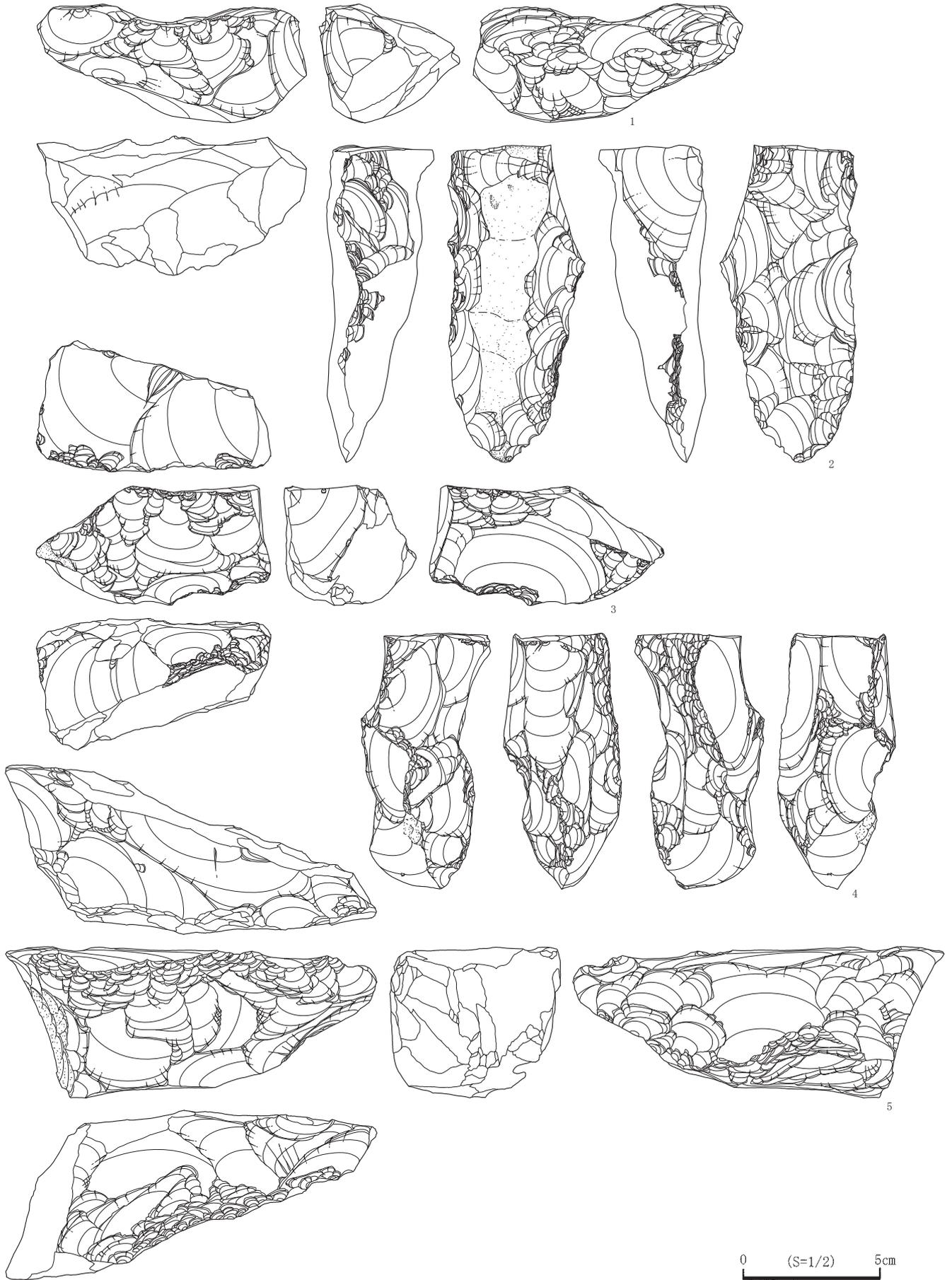
遺物図154 石器(36) 石核-4



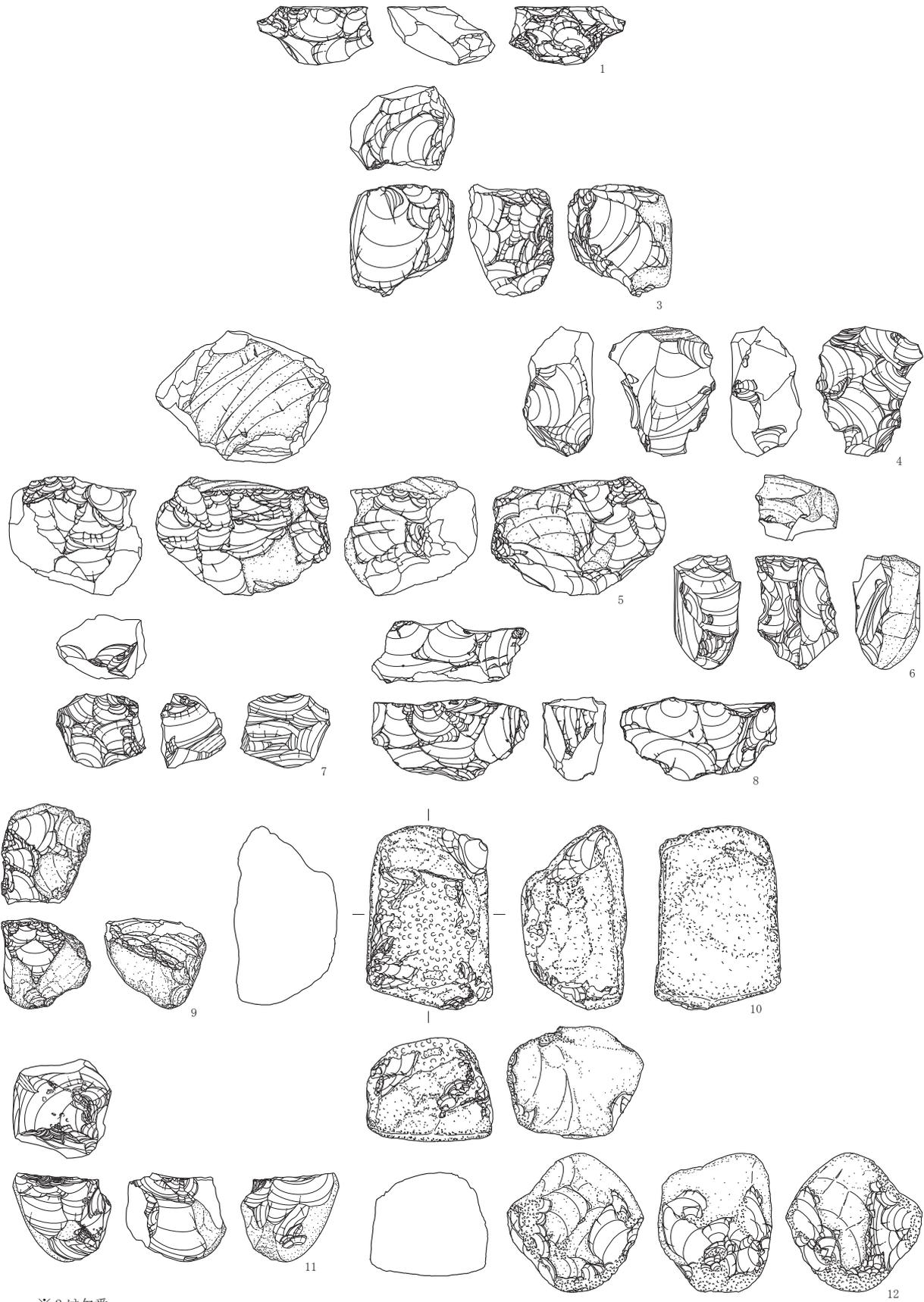
遺物図155 石器(37) 石核-5



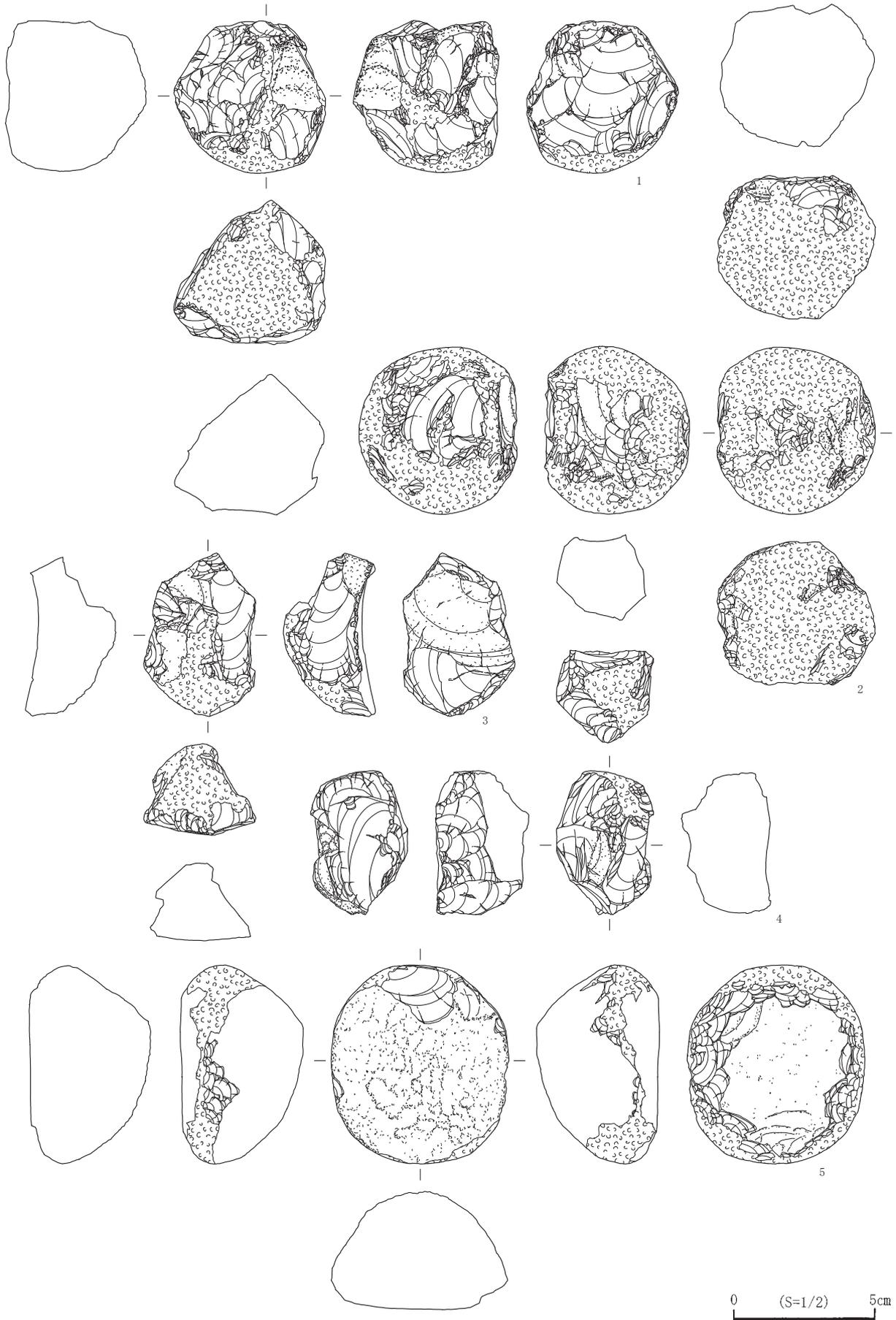
遺物図156 石器(38) 石核-6



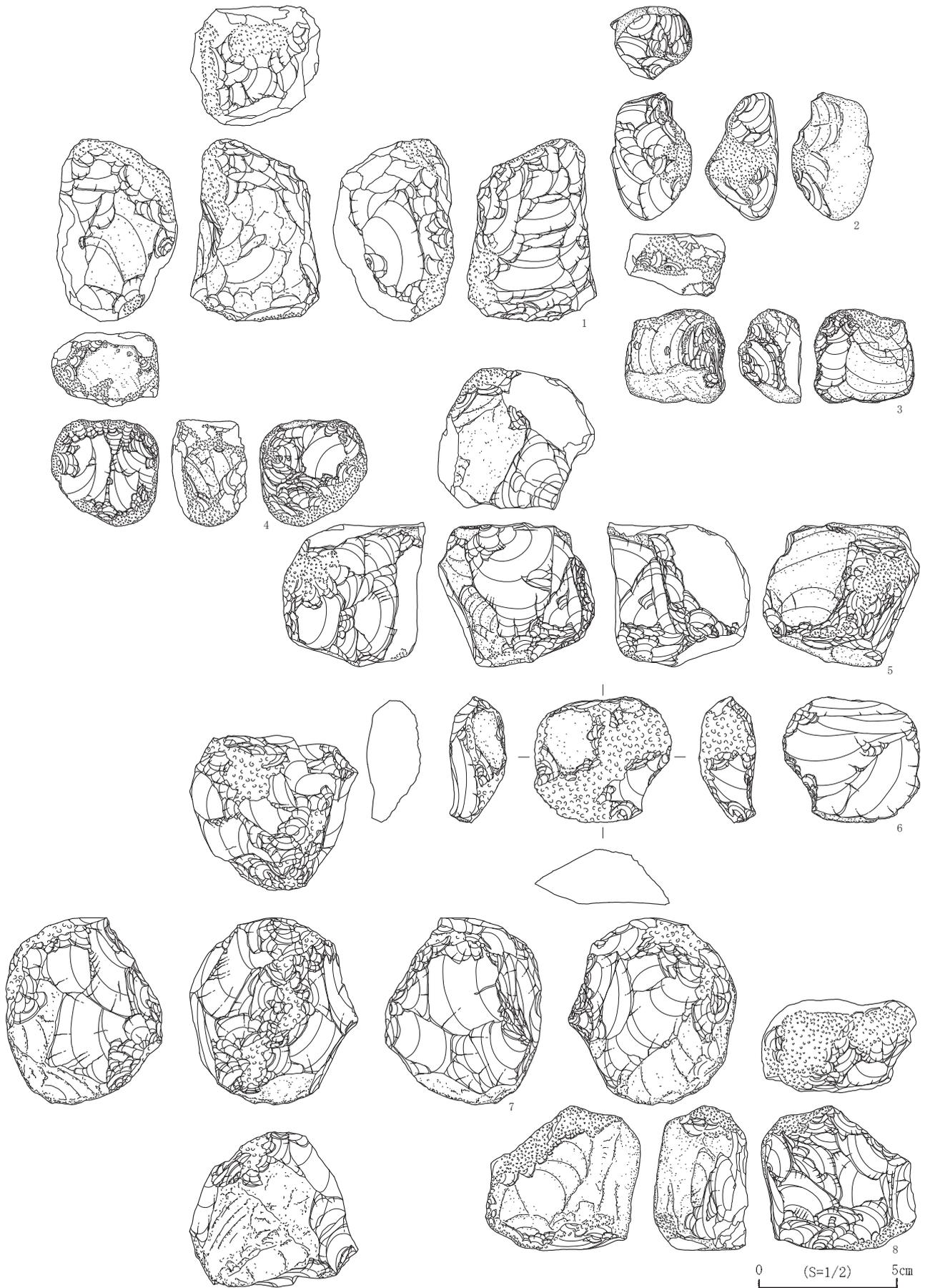
遺物図157 石器(39) 石核-7



遺物図158 石器(40) 石核-8



遺物図159 石器(41) 石核-9



遺物図160 石器(42) 石核-10

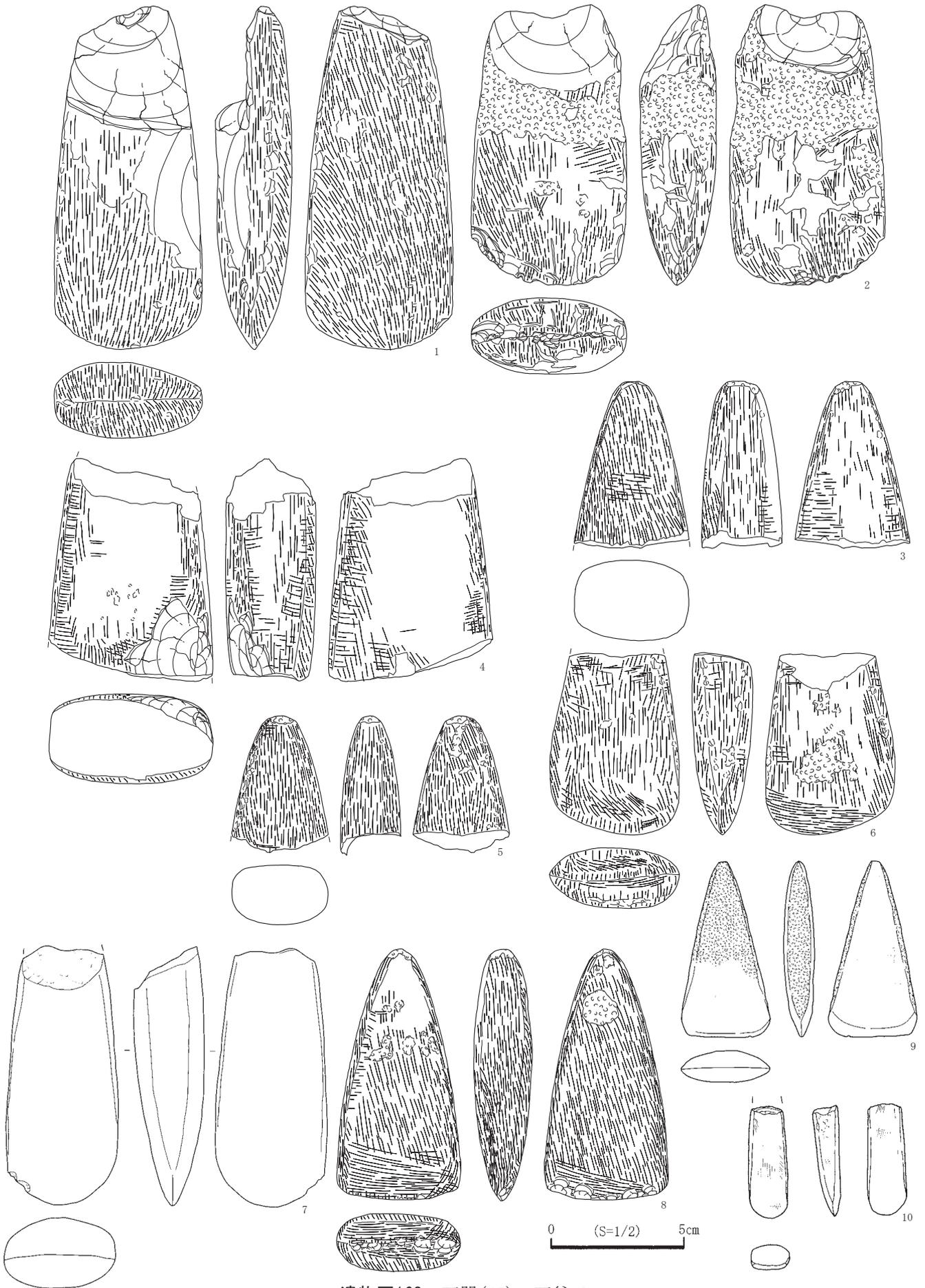


※アミフセはアスファルト

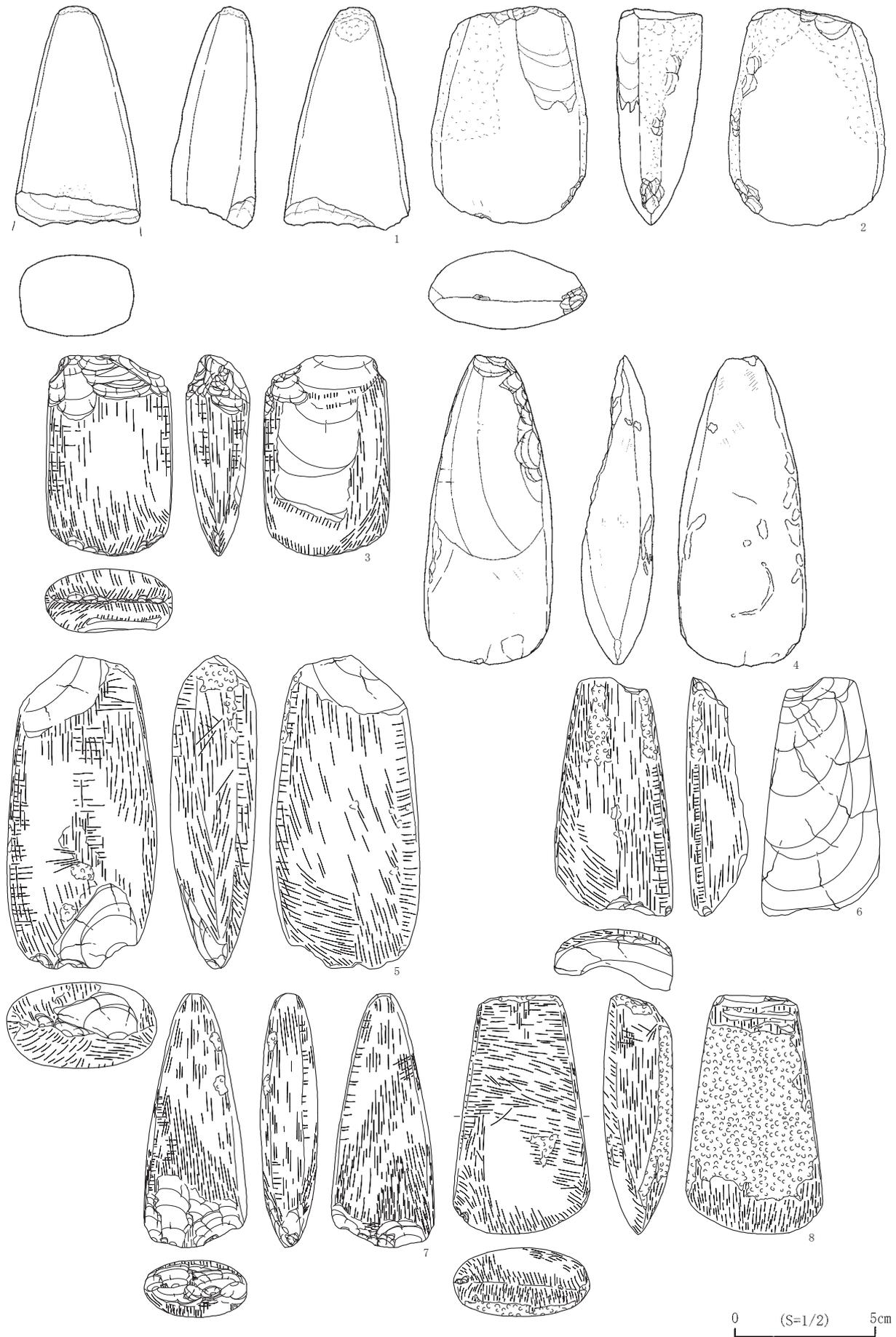
遺物図161 石器(43) 接合資料・剥片



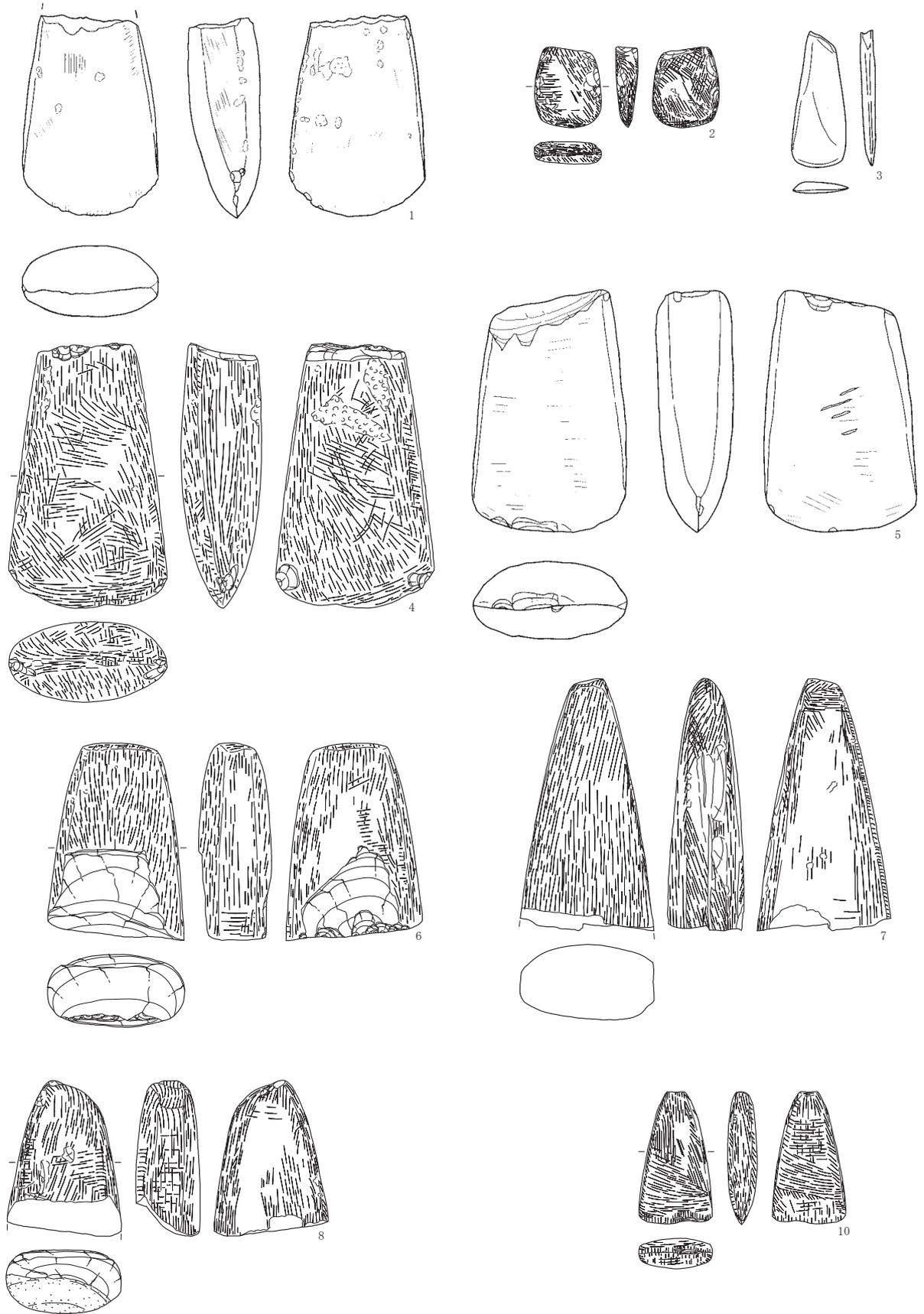
遺物図162 石器(44) 石斧-1



遺物図163 石器(45) 石斧-2



遺物図164 石器(46) 石斧-3



※9は欠番

0 (S=1/2) 5cm

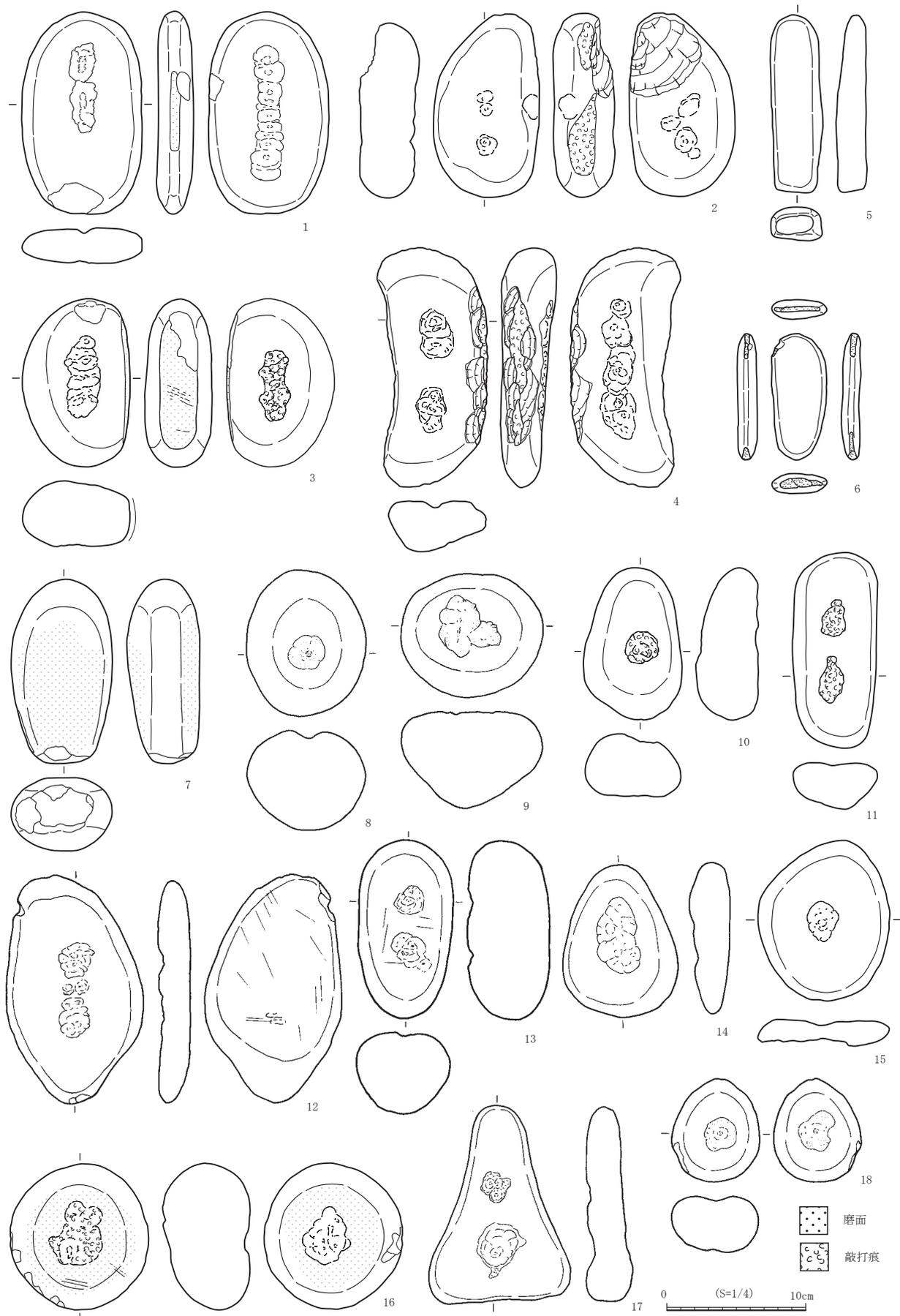
遺物図165 石器(47) 石斧-4



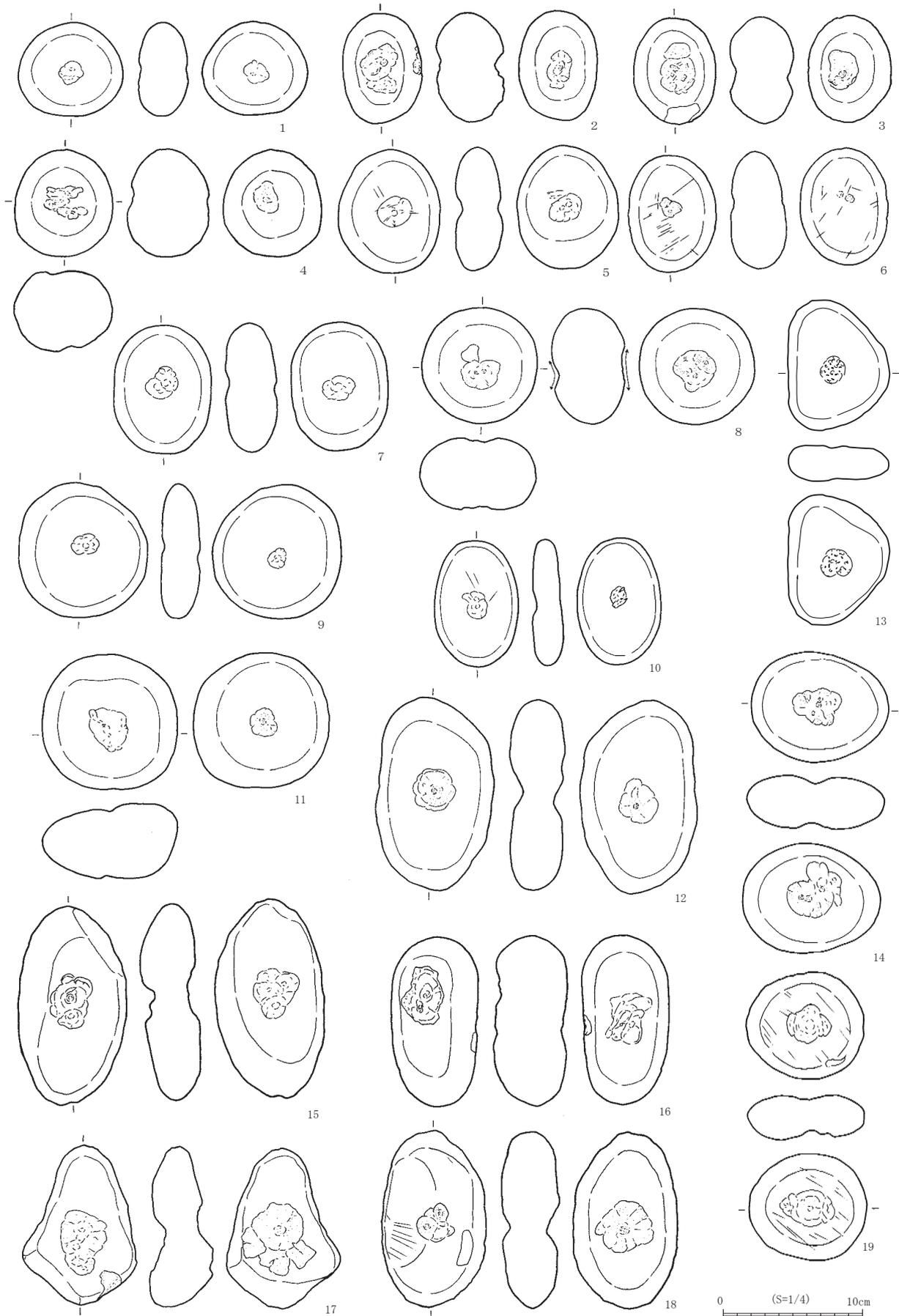
遺物図166 石器(48) 磨石-1



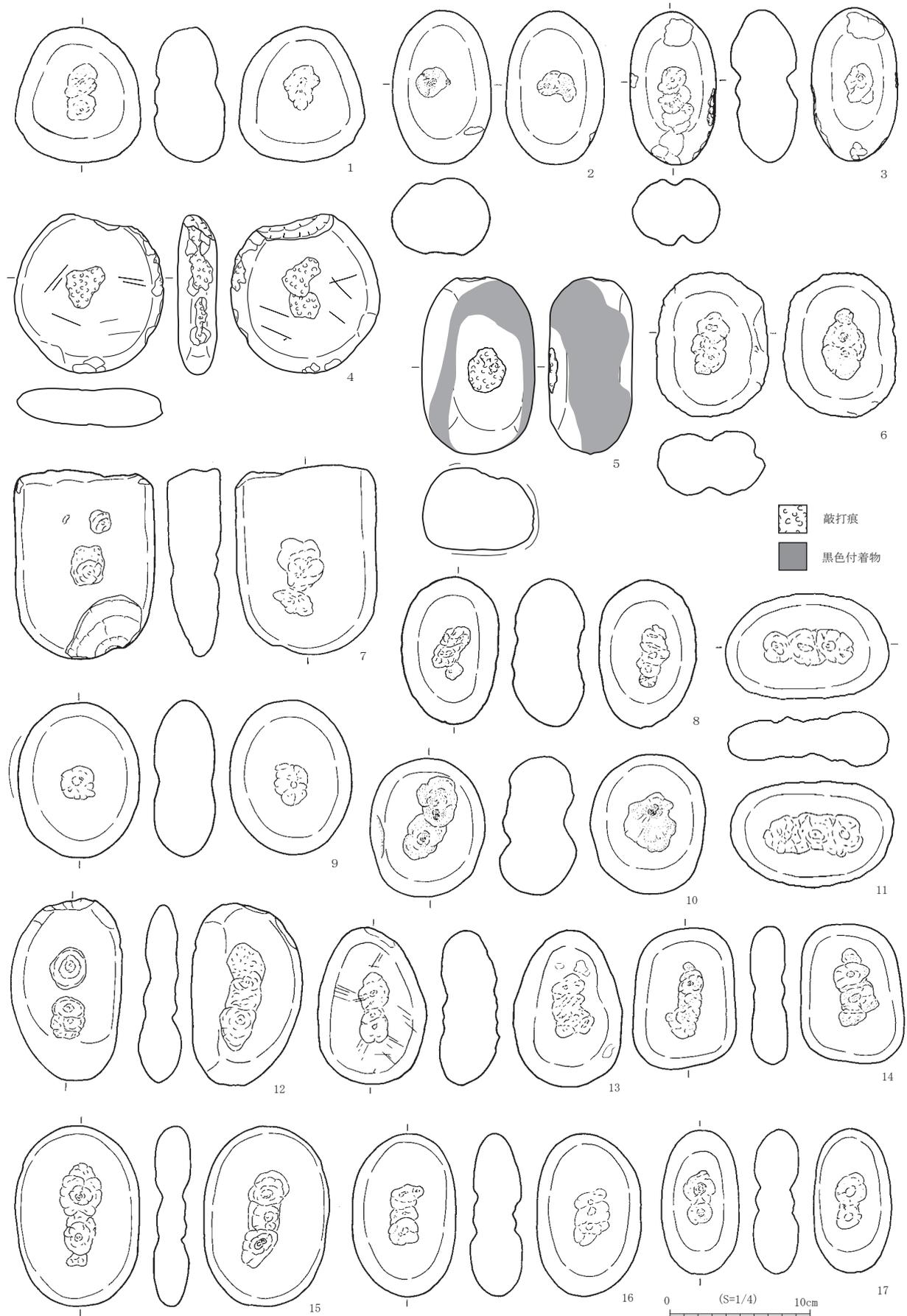
遺物図167 石器(49) 磨石-2



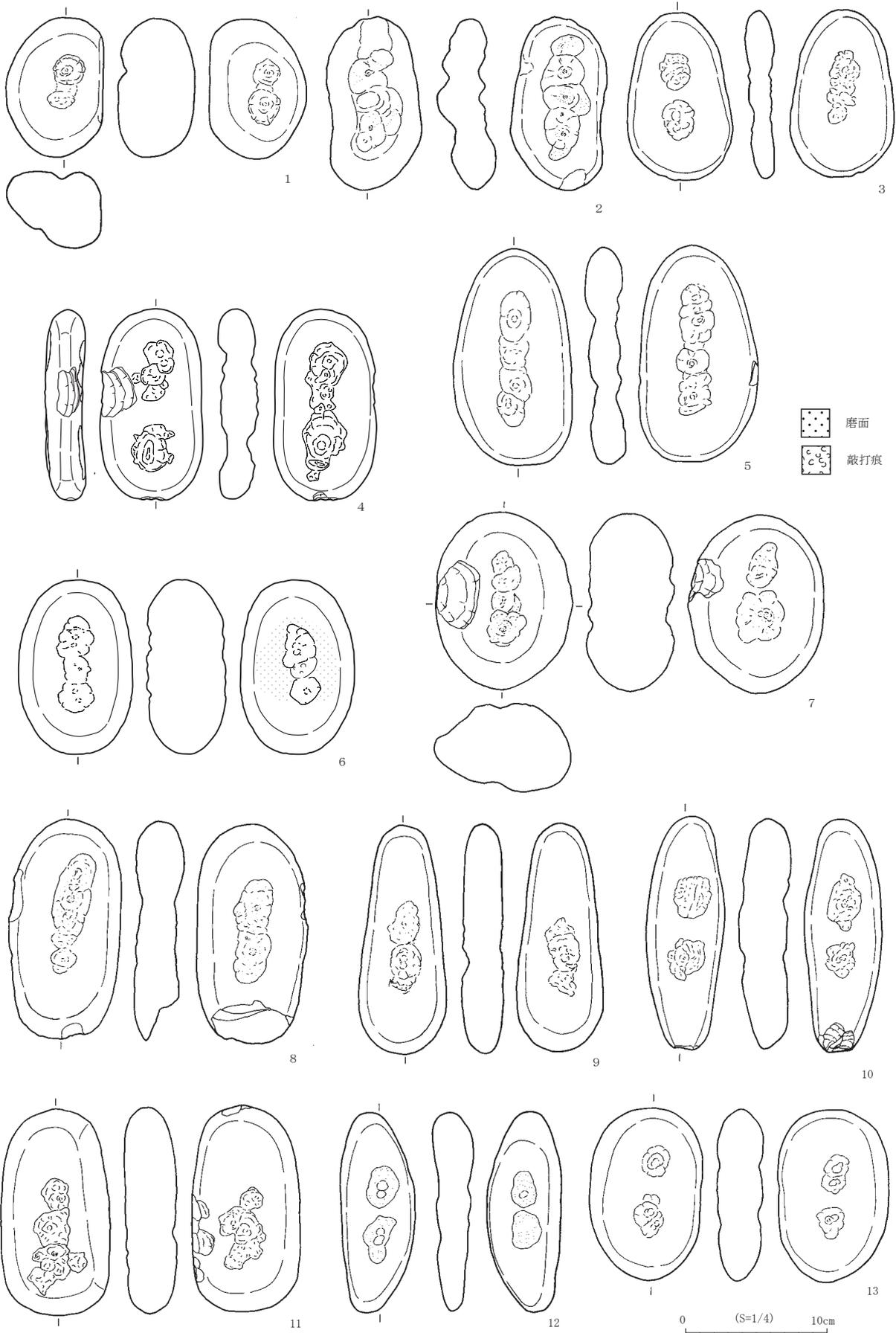
遺物図168 石器(50) 磨石-3・凹石-1



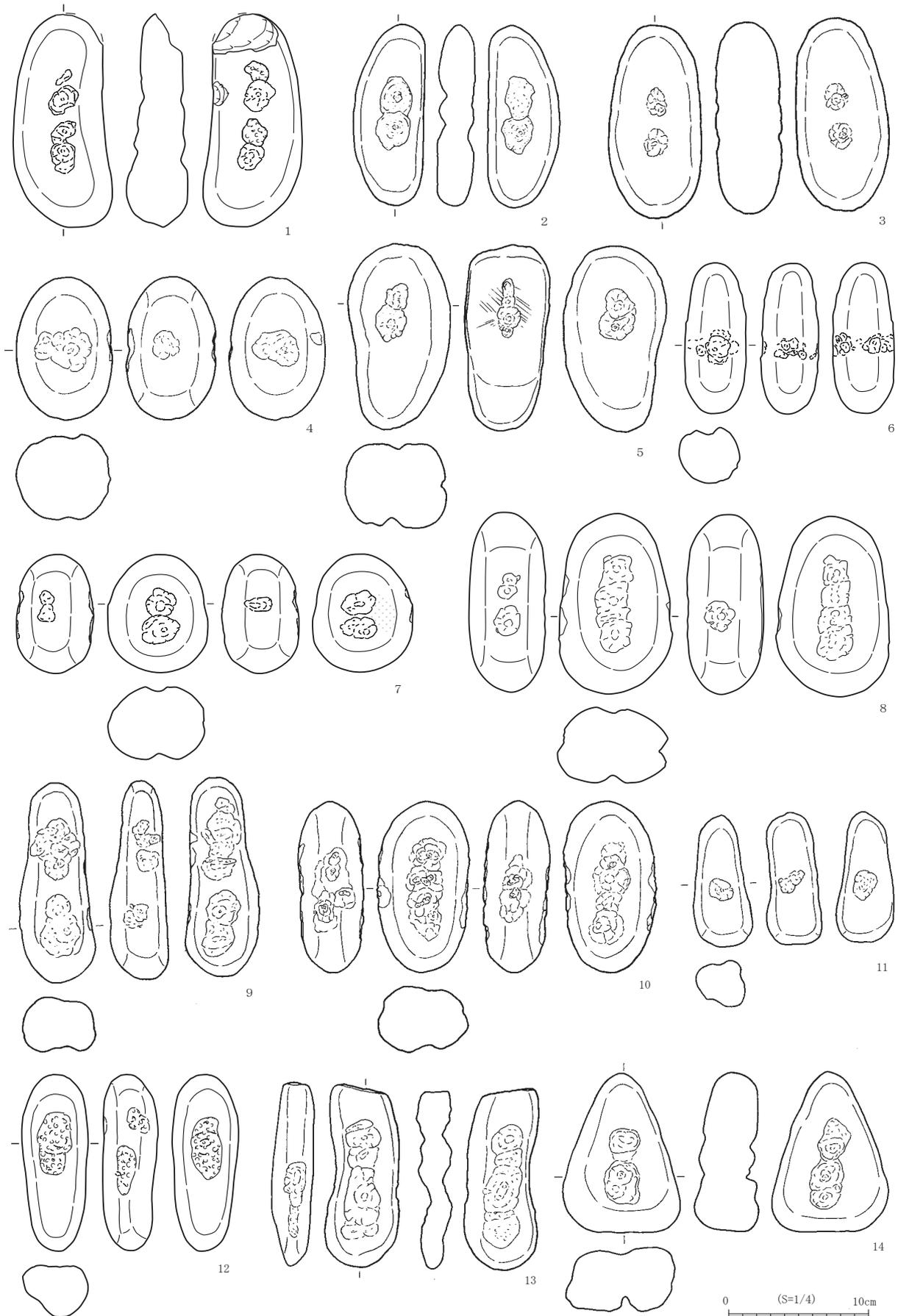
遺物図169 石器(51) 凹石-2



遺物図170 石器(52) 凹石-3



遺物図171 石器(53) 凹石-4



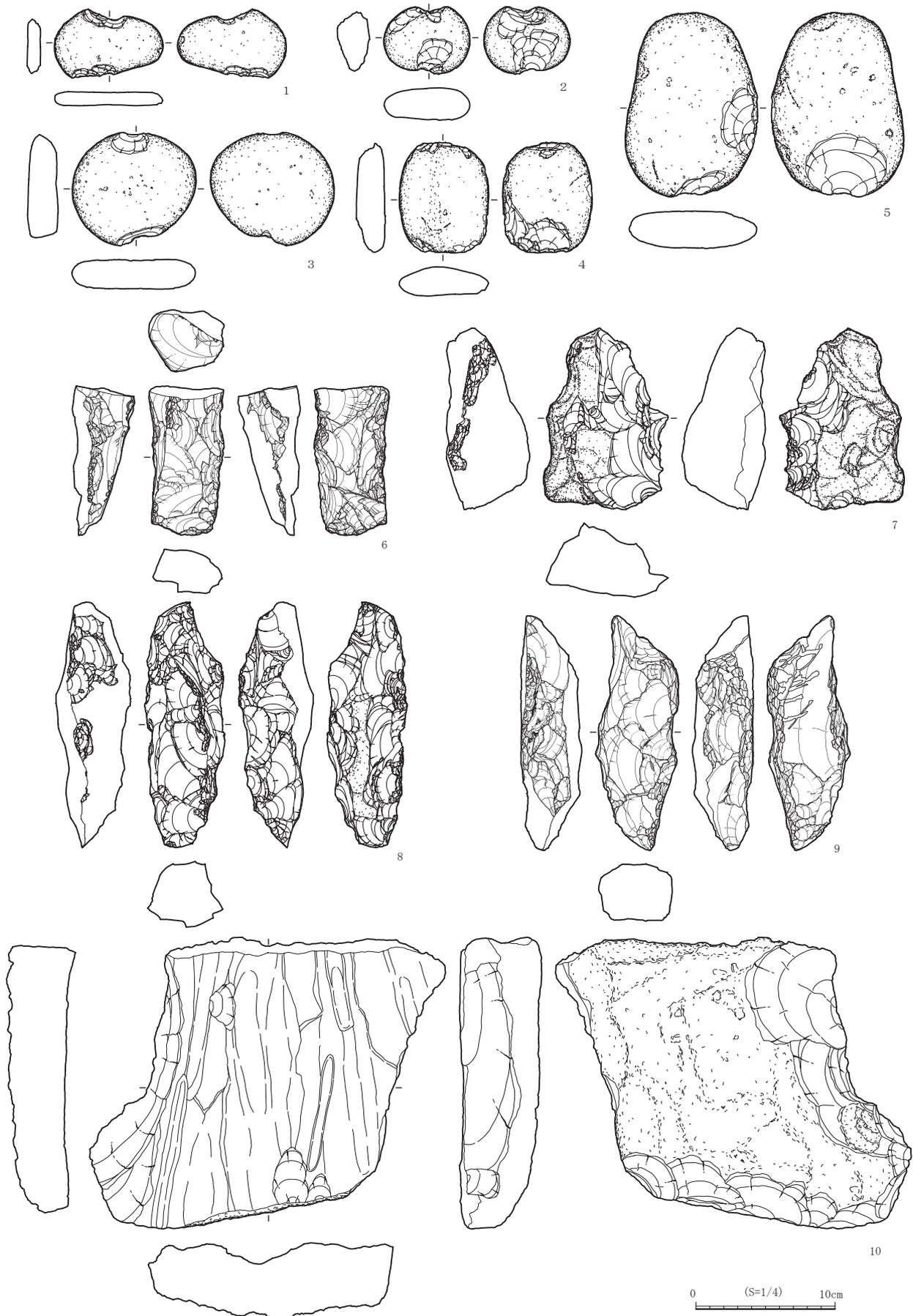
遺物図172 石器(54) 凹石-5



遺物図173 石器(55) 凹石-6



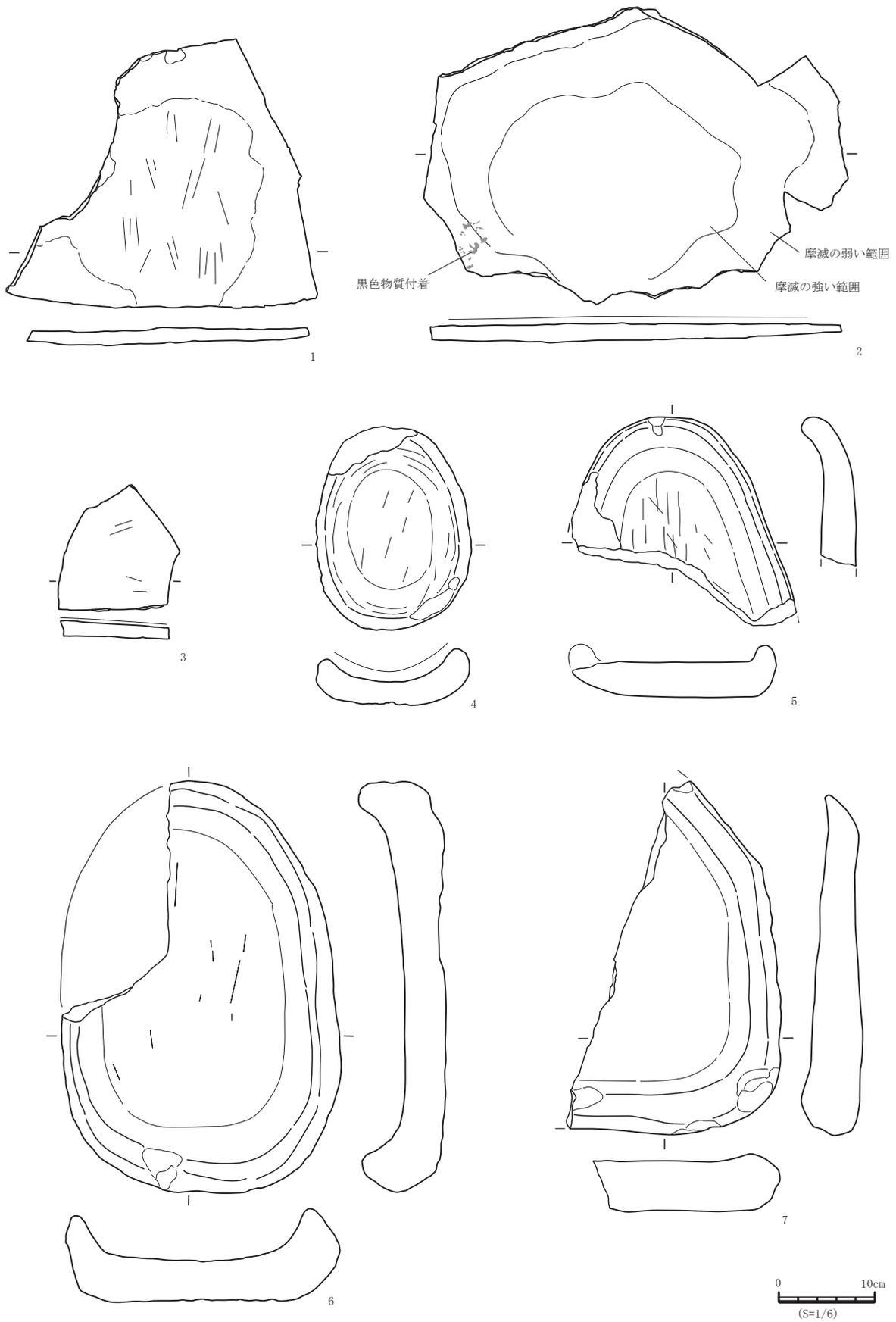
遺物図174 石器(56) 凹石-7・敲石



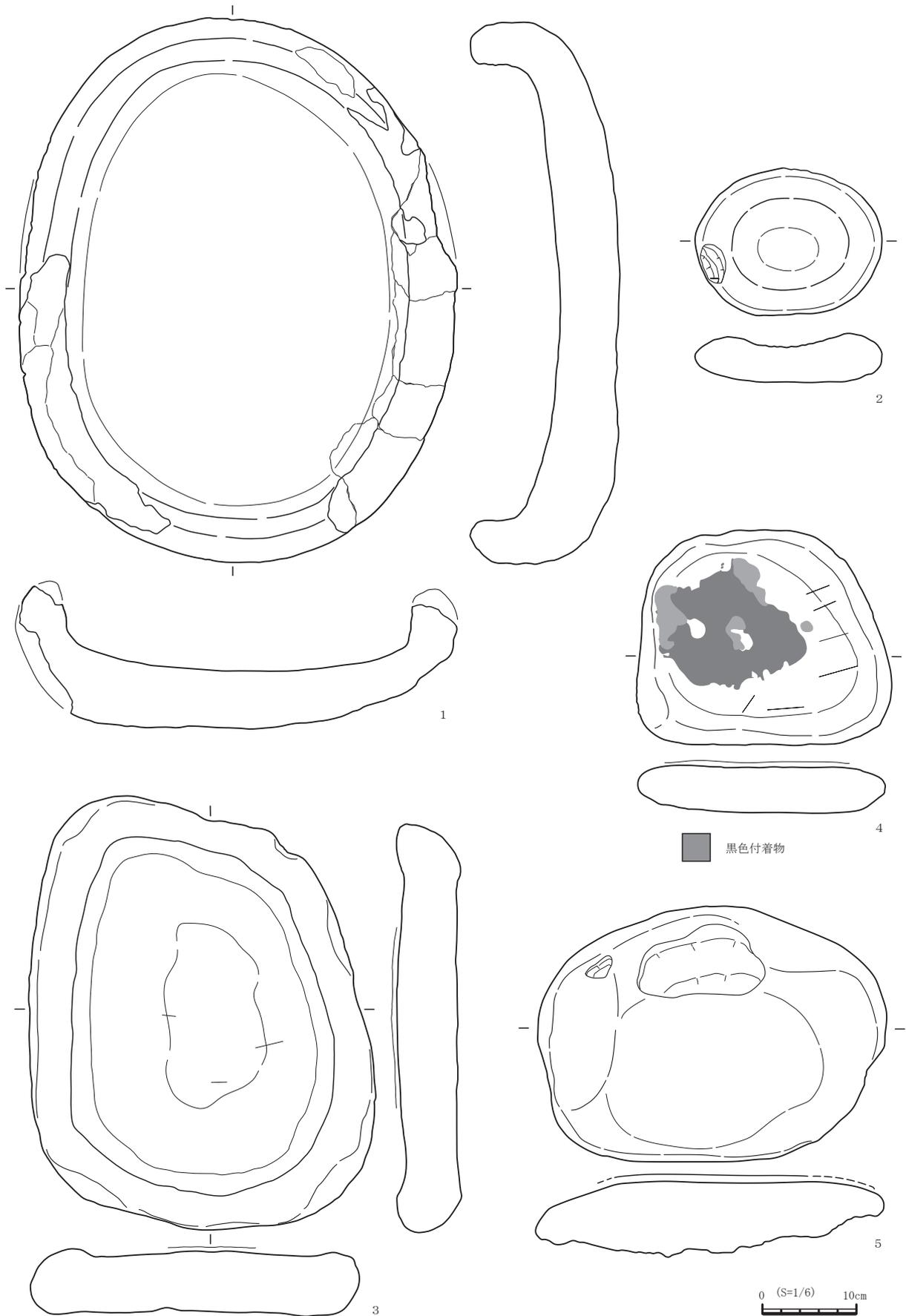
遺物図175 石器(57) 石錘・礫器・砥石-1



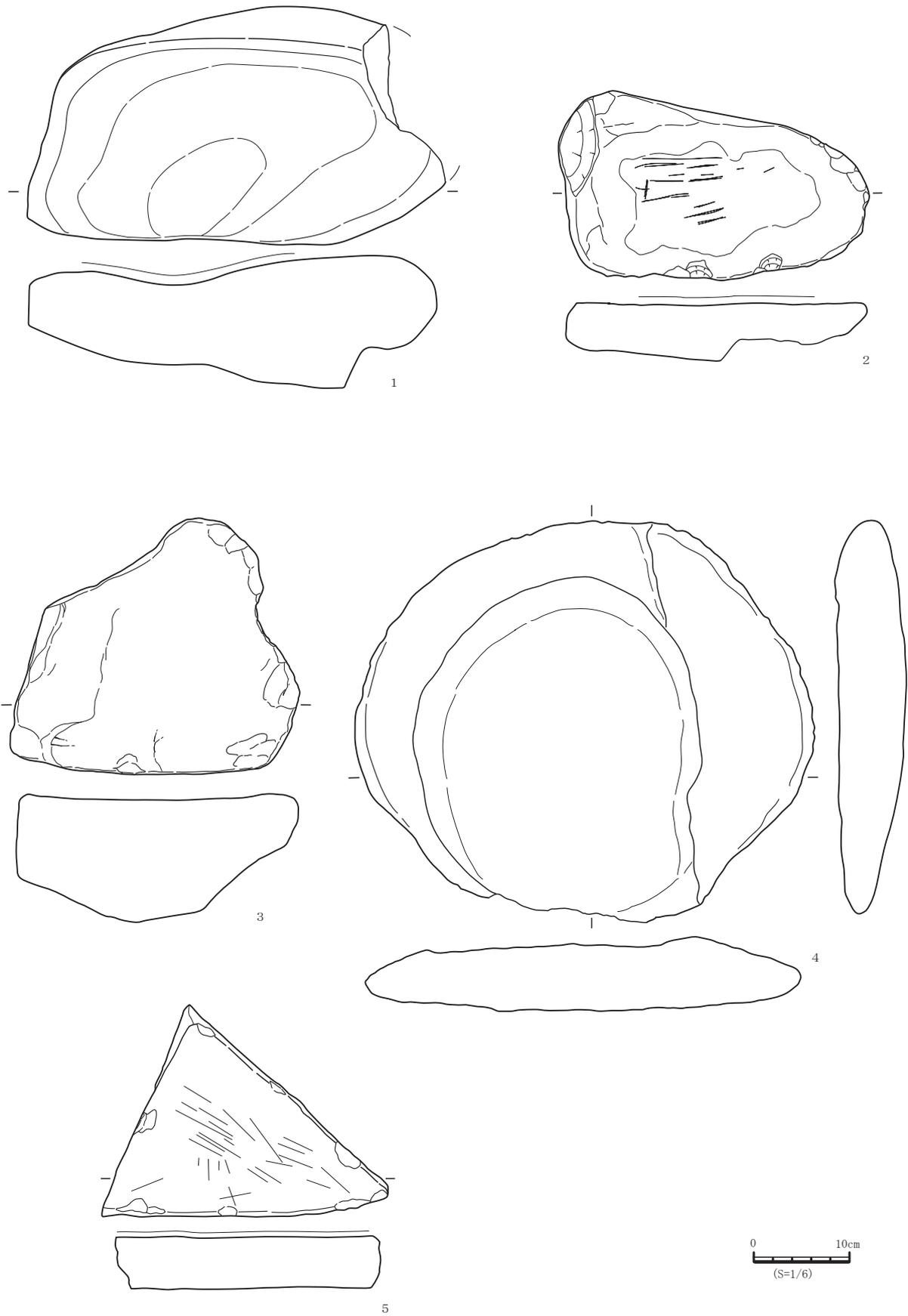
遺物図176 石器(58) 砥石-2・石皿-1



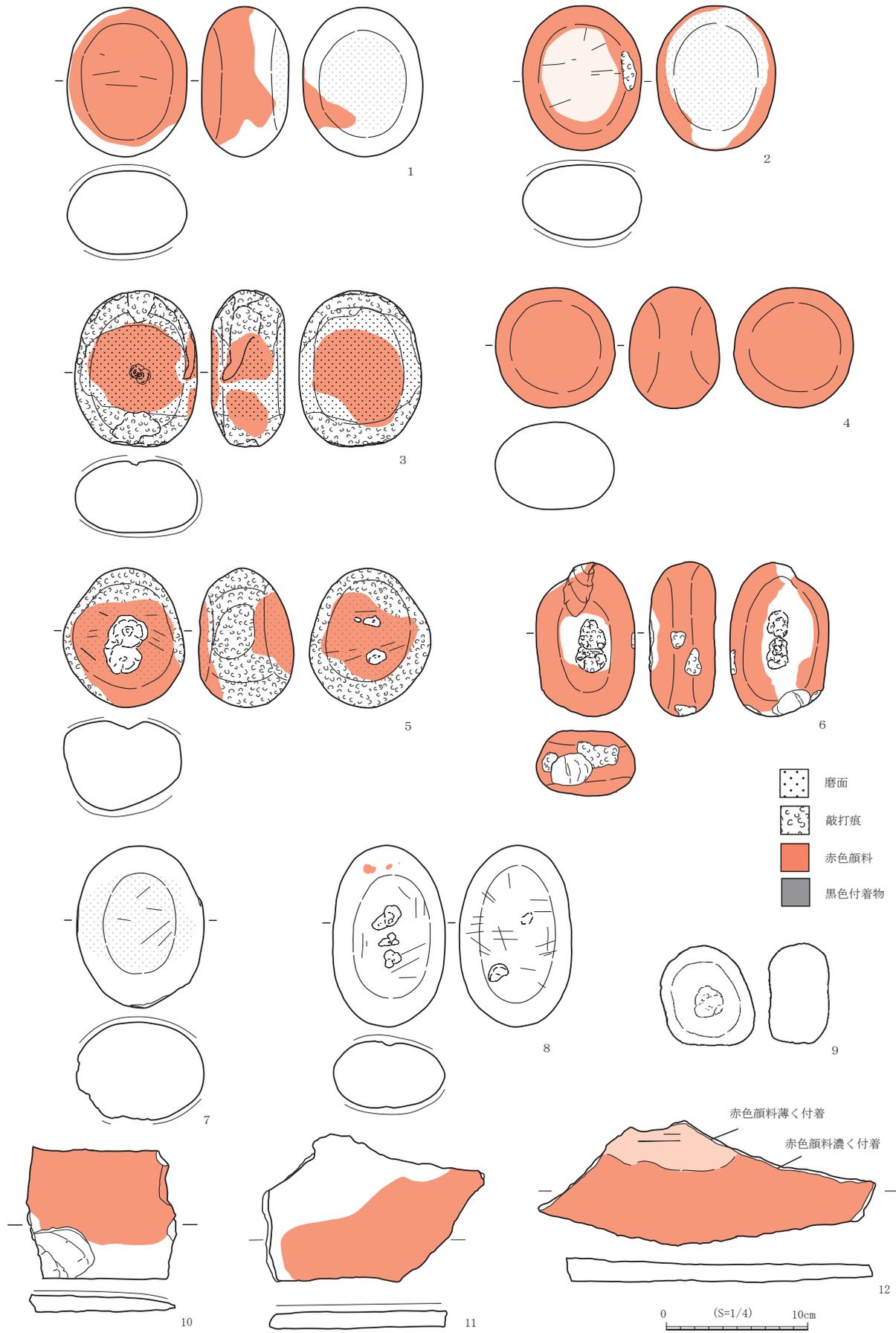
遺物図177 石器(59) 石皿-2



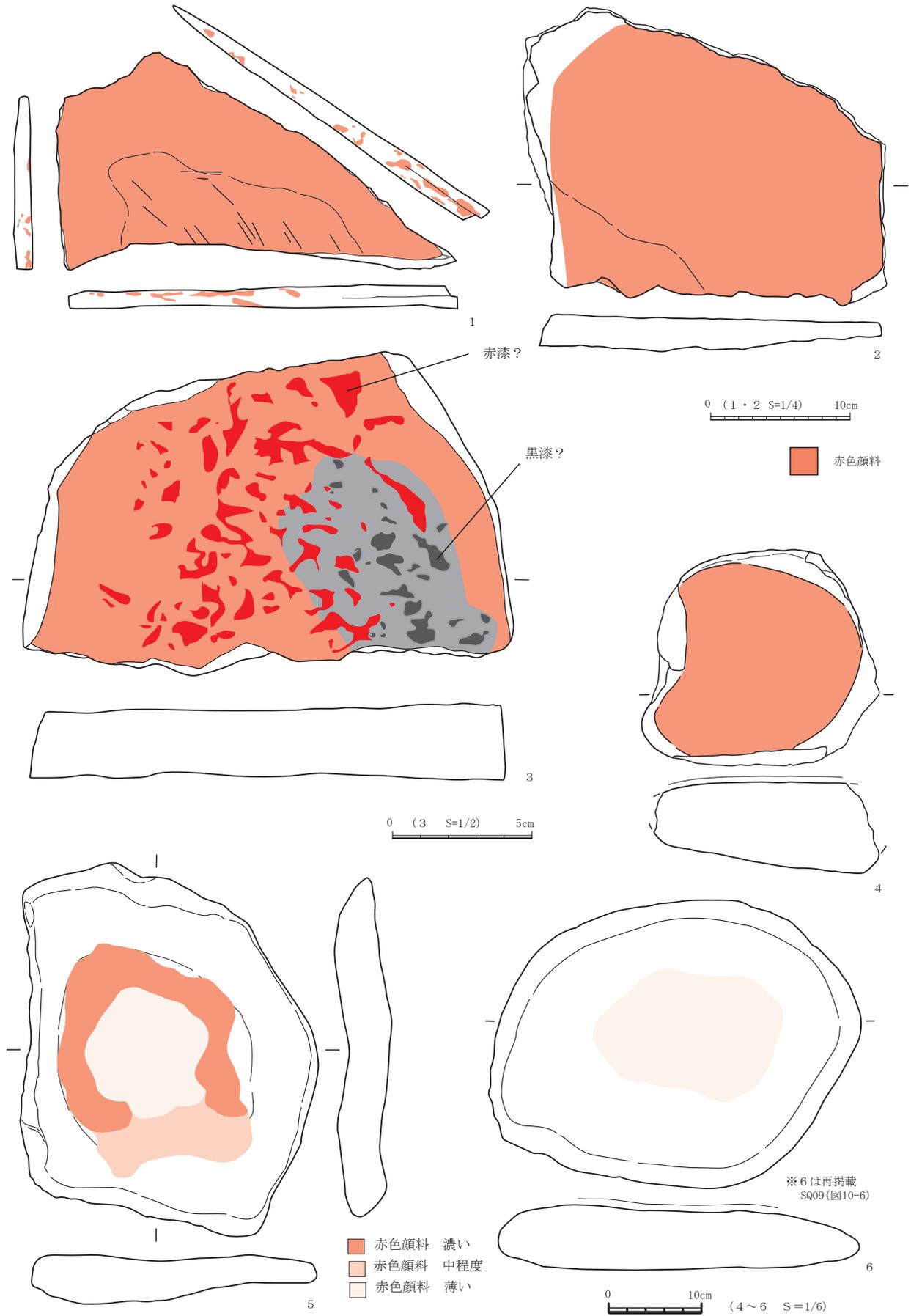
遺物図178 石器(60) 石皿-3



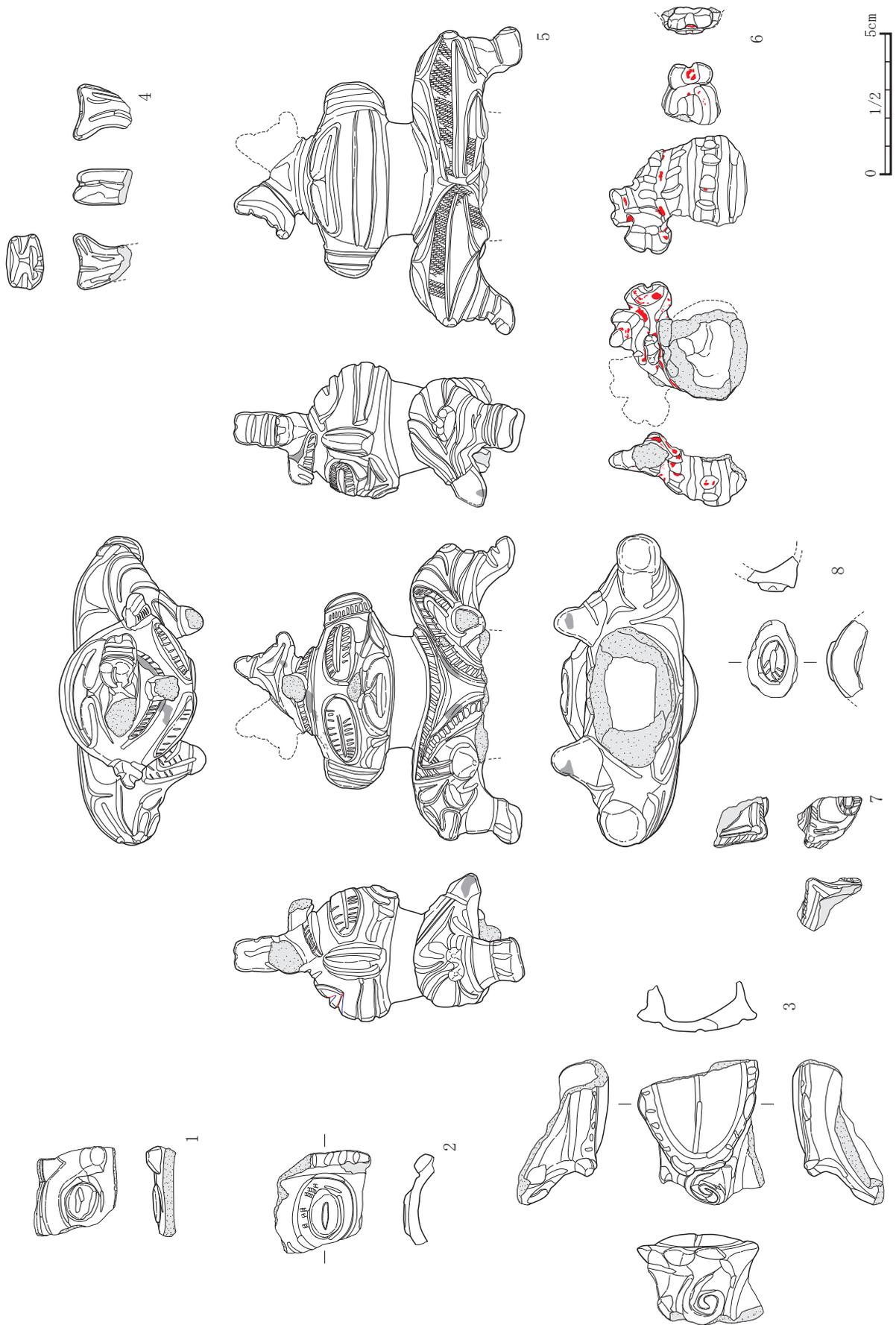
遺物図179 石器(61) 石皿-4



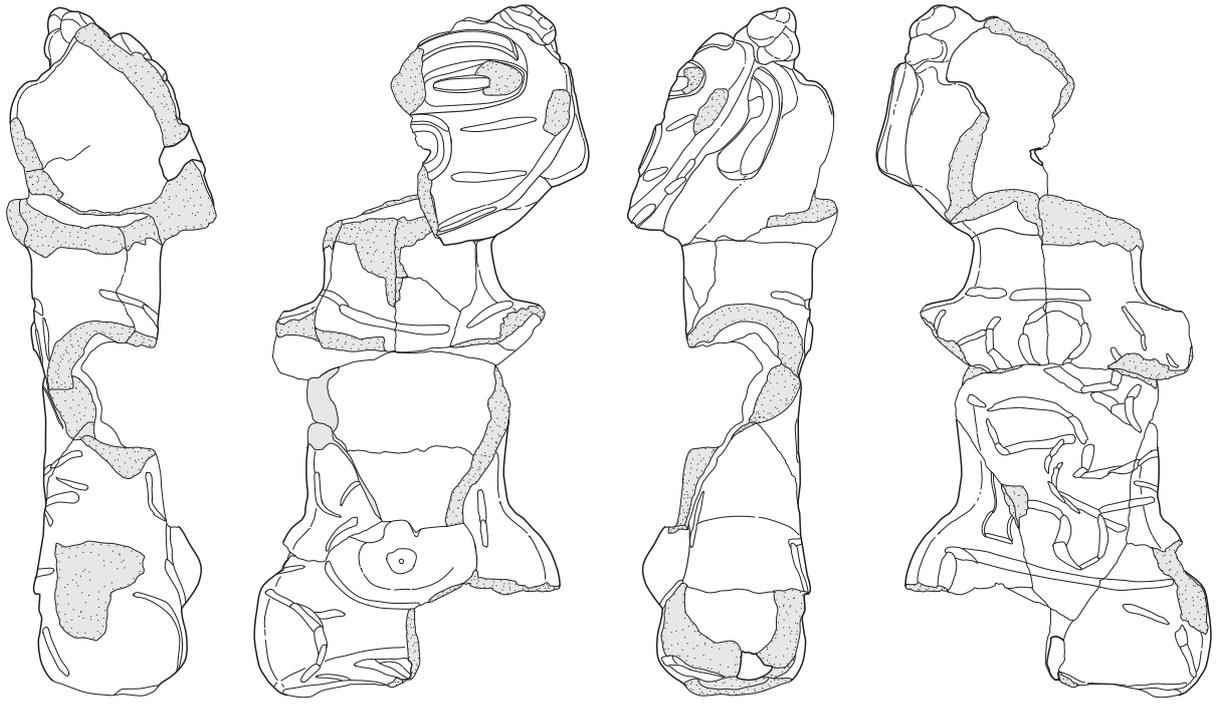
遺物図180 石器(62) 赤色顔料が付着している石器-1



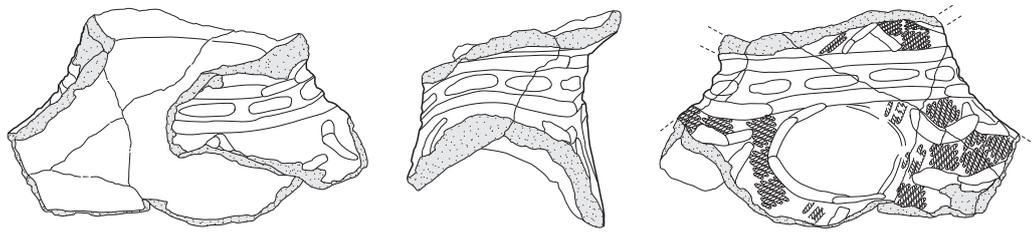
遺物図181 石器(63) 赤色顔料が付着している石器-2



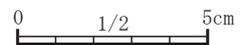
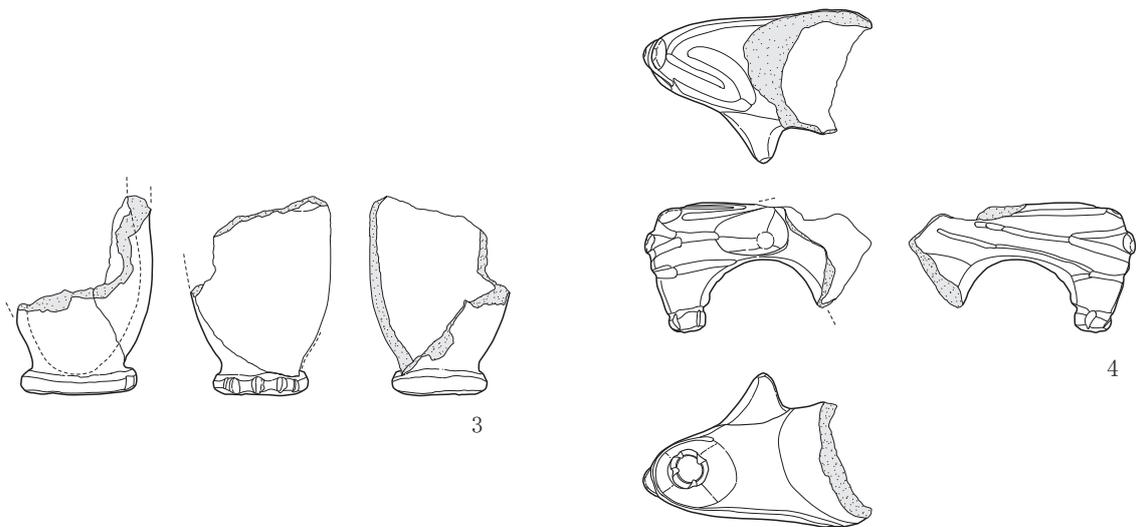
遺物図182 土製品(1) 土偶-1



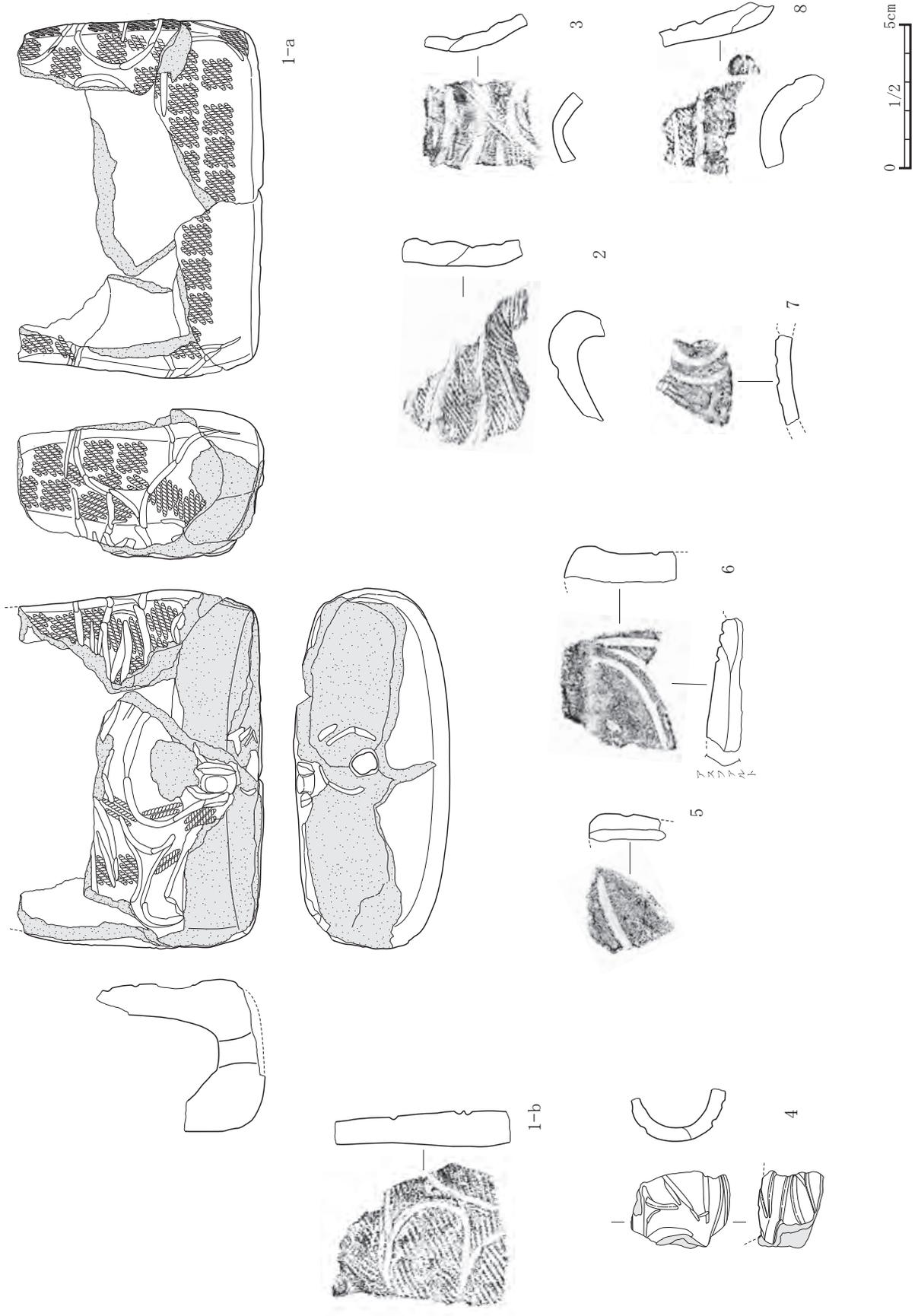
1



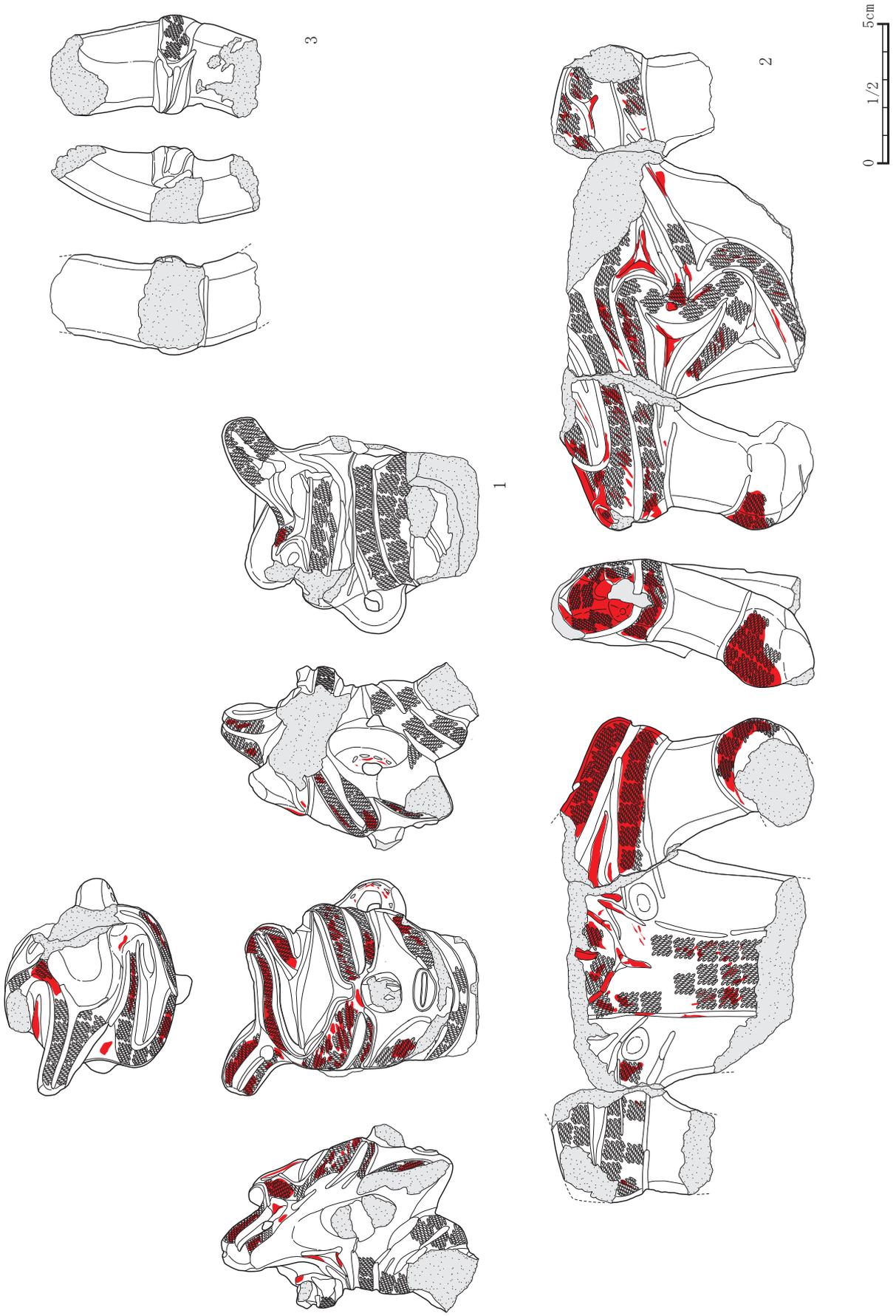
2



遺物図183 土製品(2) 土偶-2



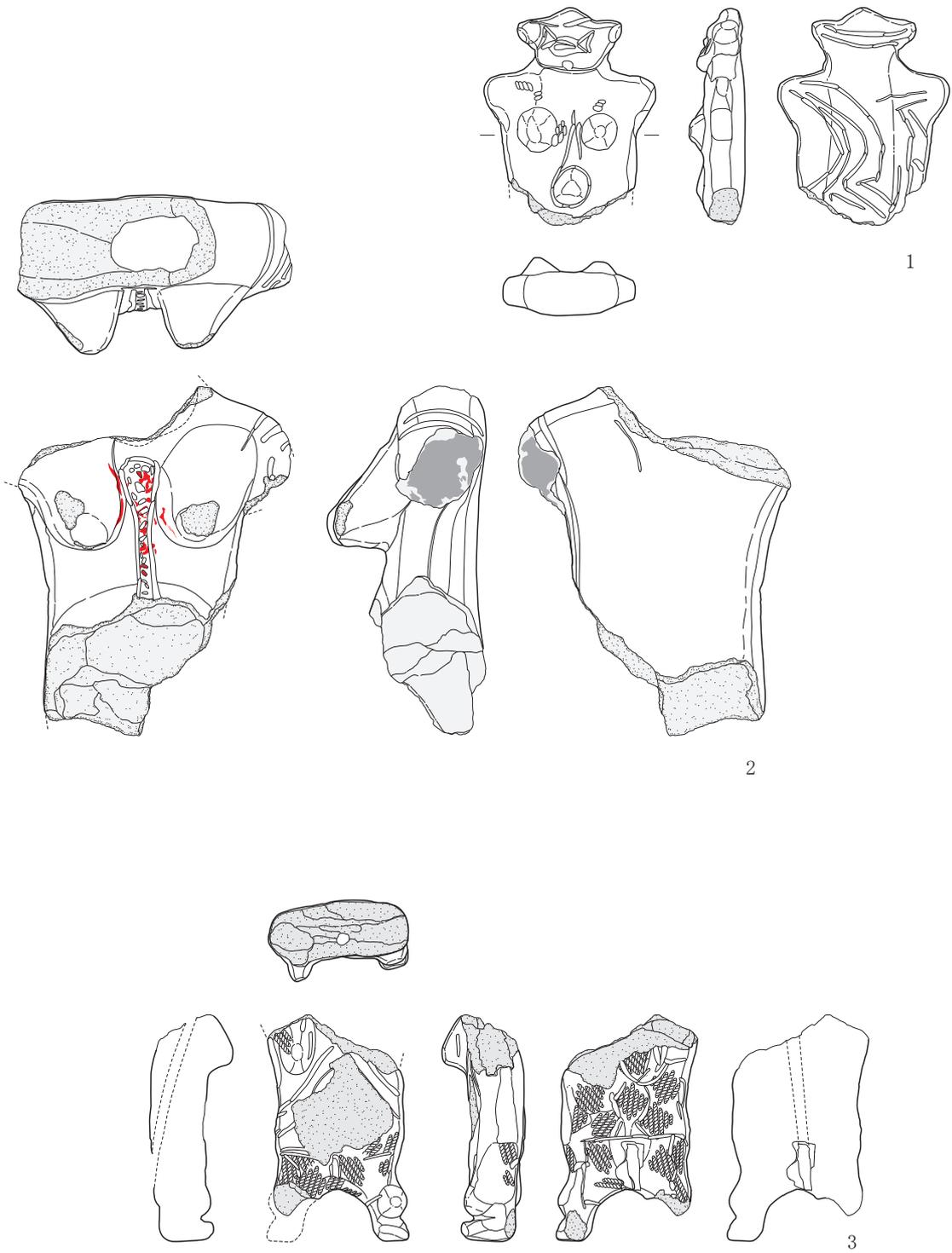
遺物図184 土製品(3) 土偶-3



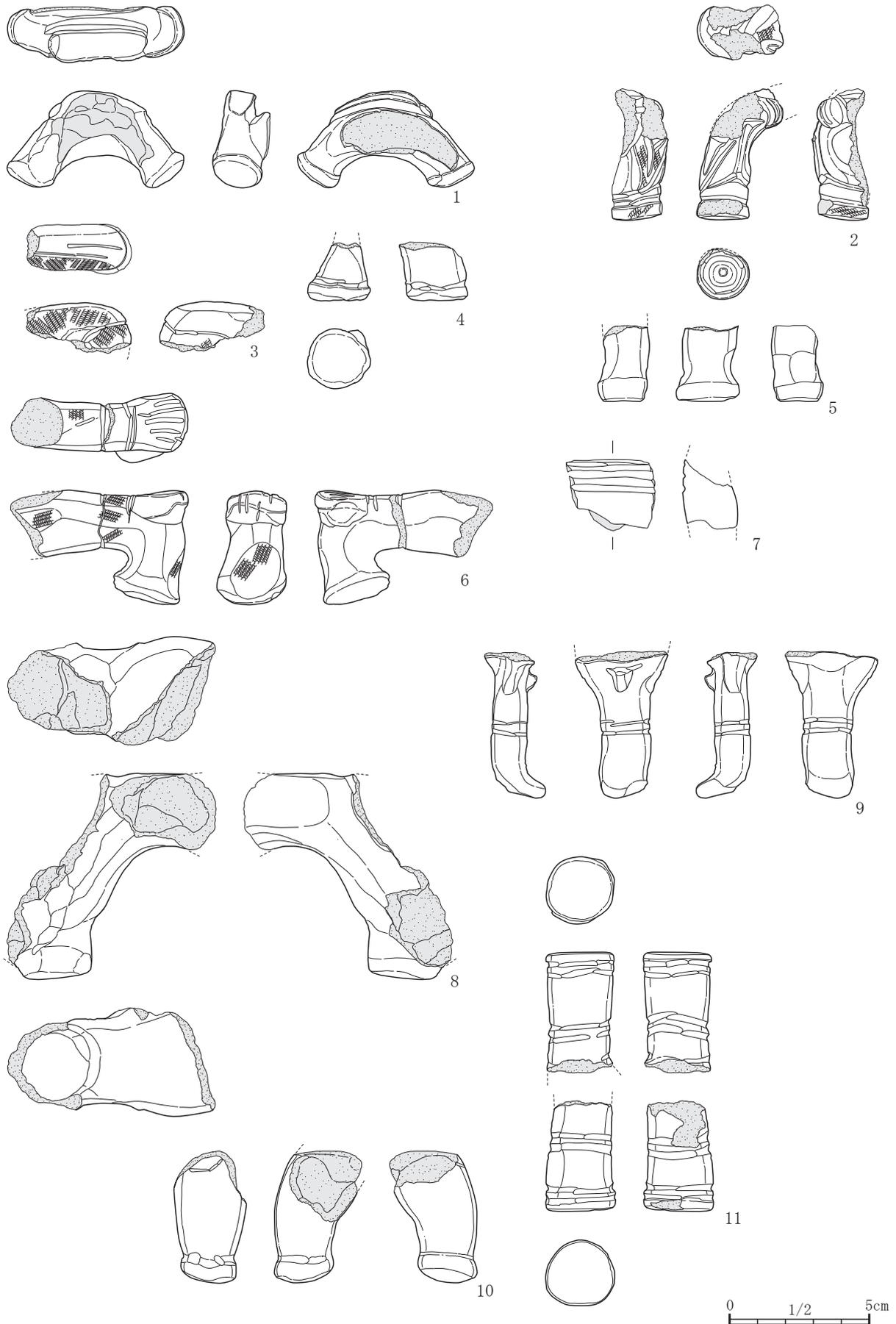
遺物図185 土製品(4) 土偶-4



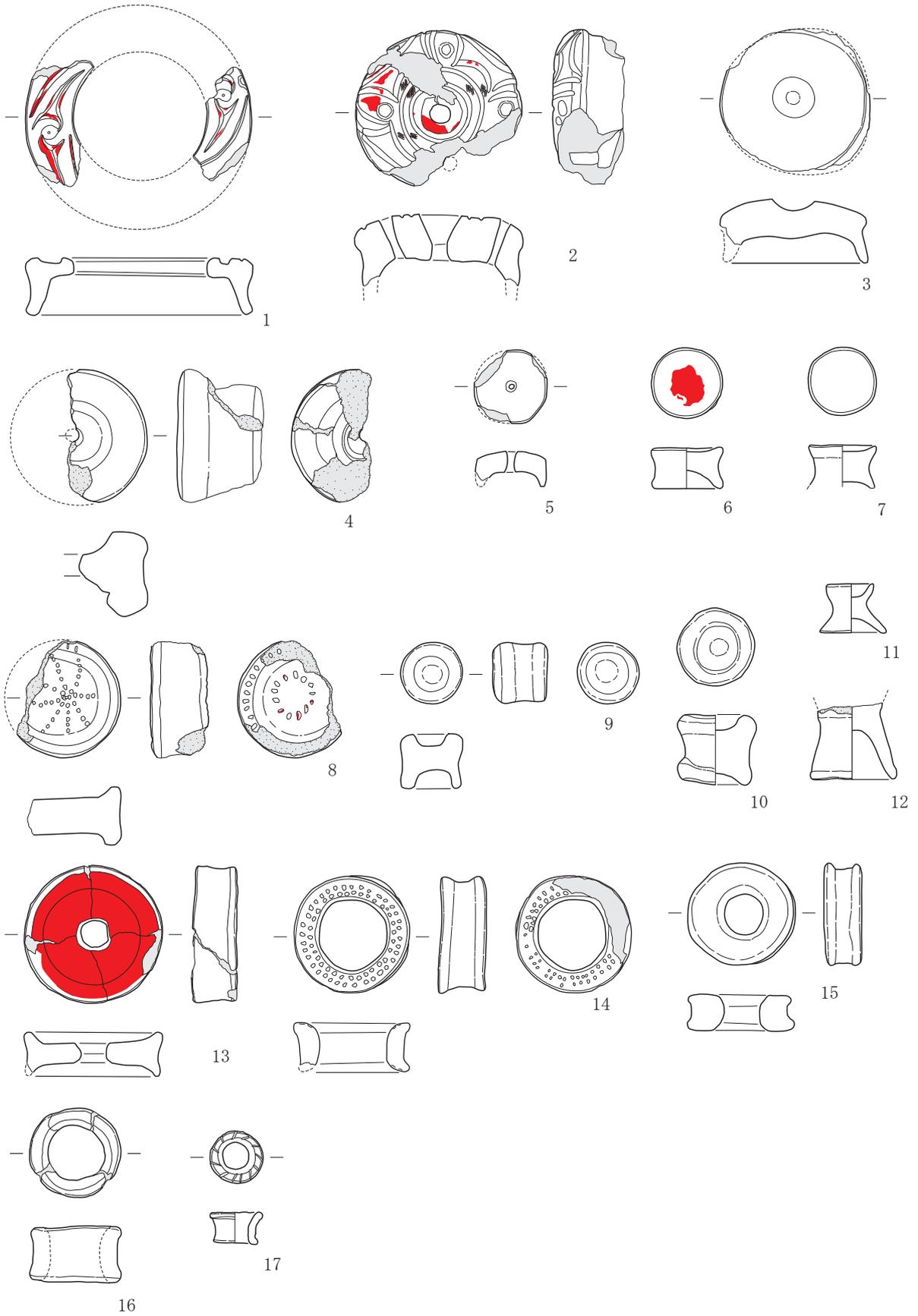
遺物図186 土製品(5) 土偶-5



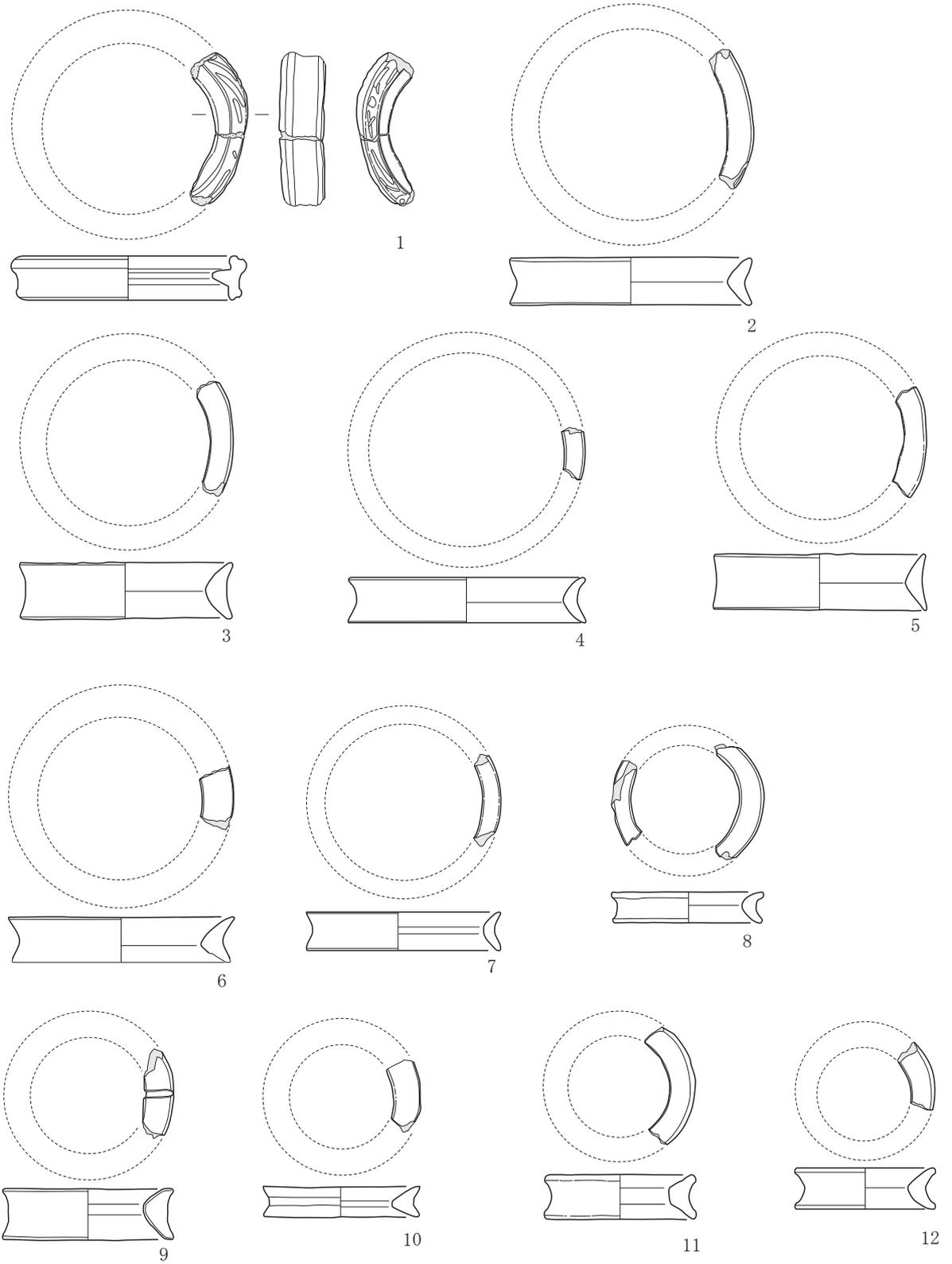
遺物図187 土製品(6) 土偶-6



遺物図188 土製品(7) 土偶-7

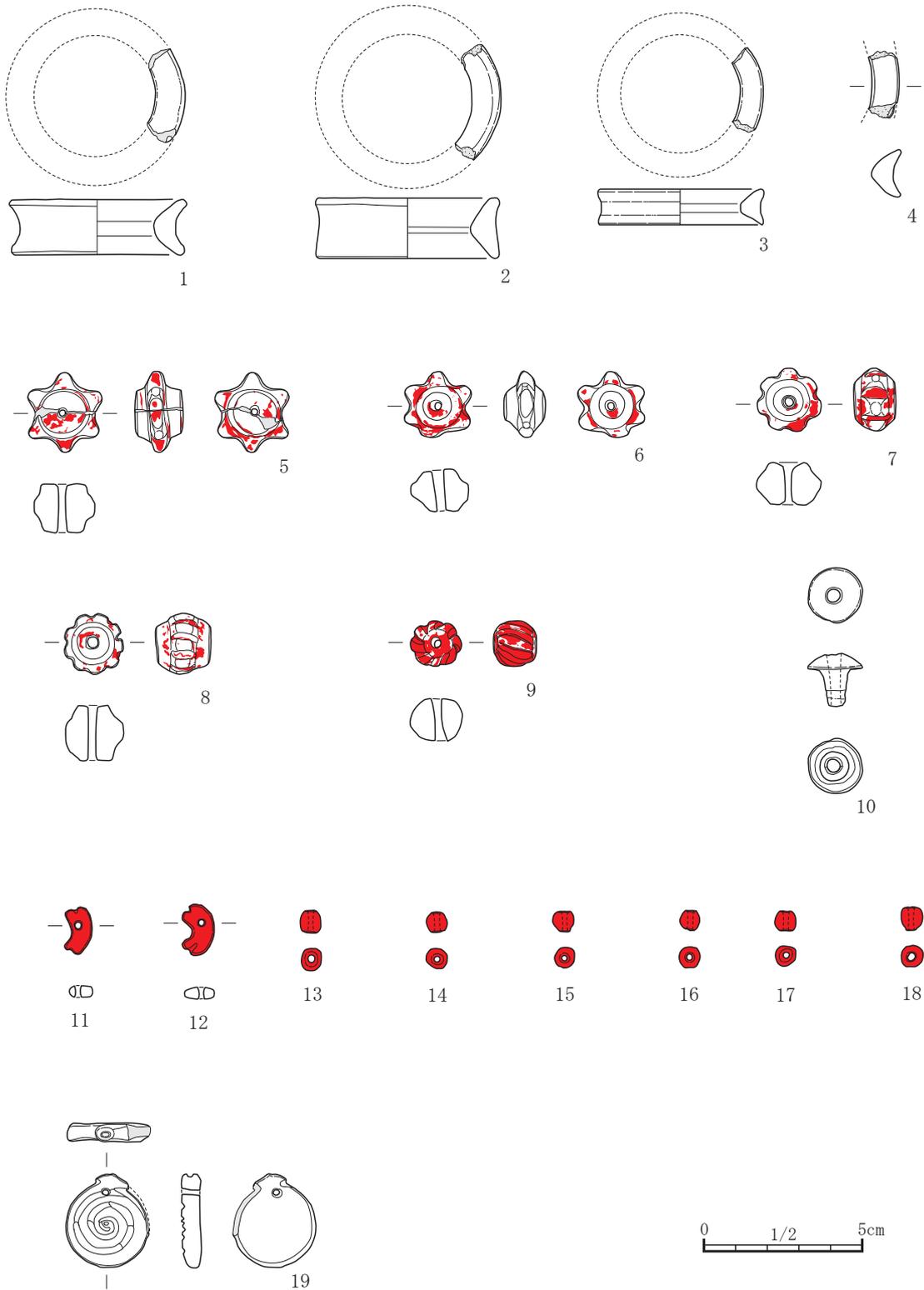


遺物図189 土製品(8) 耳飾-1

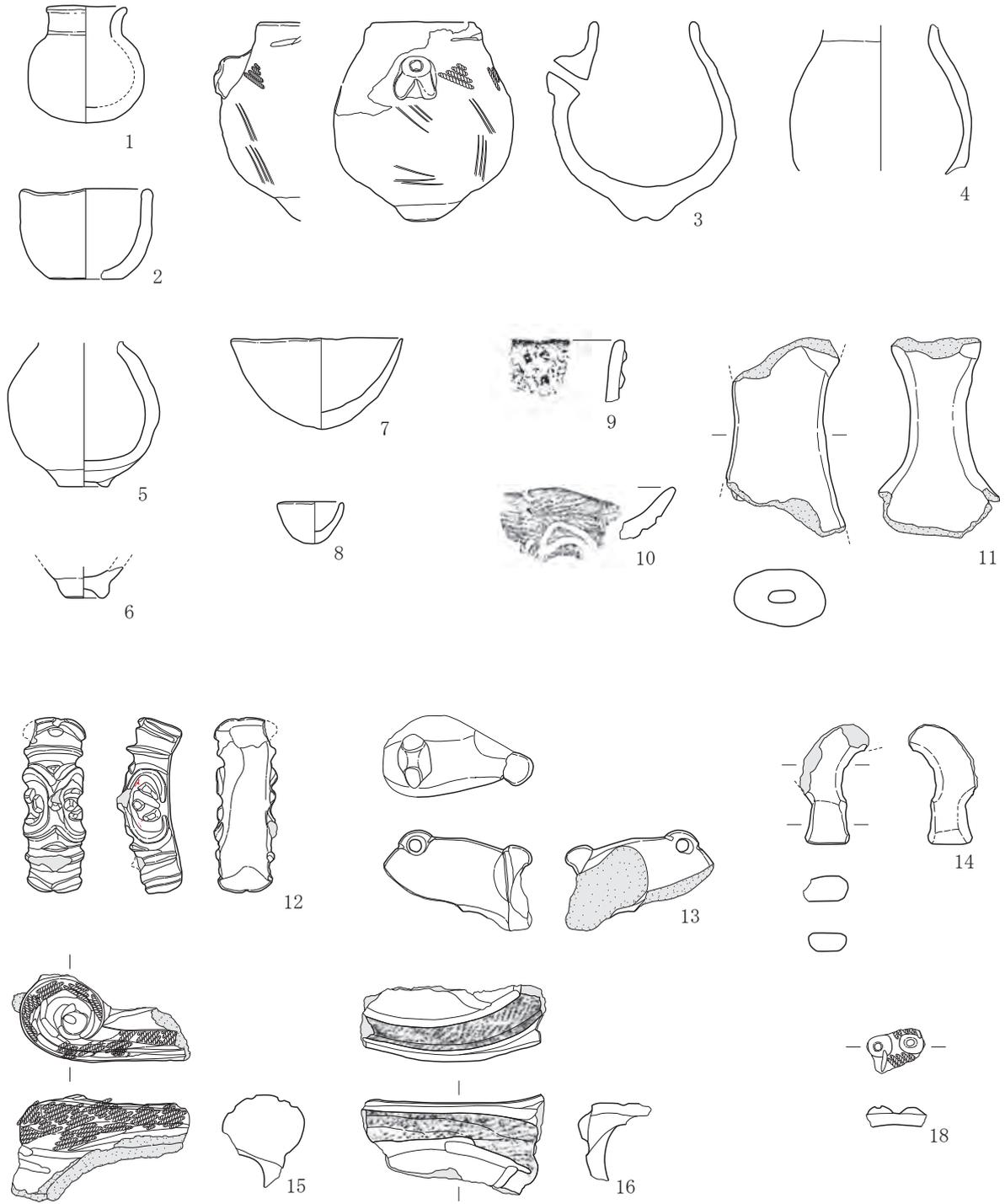


0 1/2 5cm

遺物図190 土製品(9) 耳飾-2



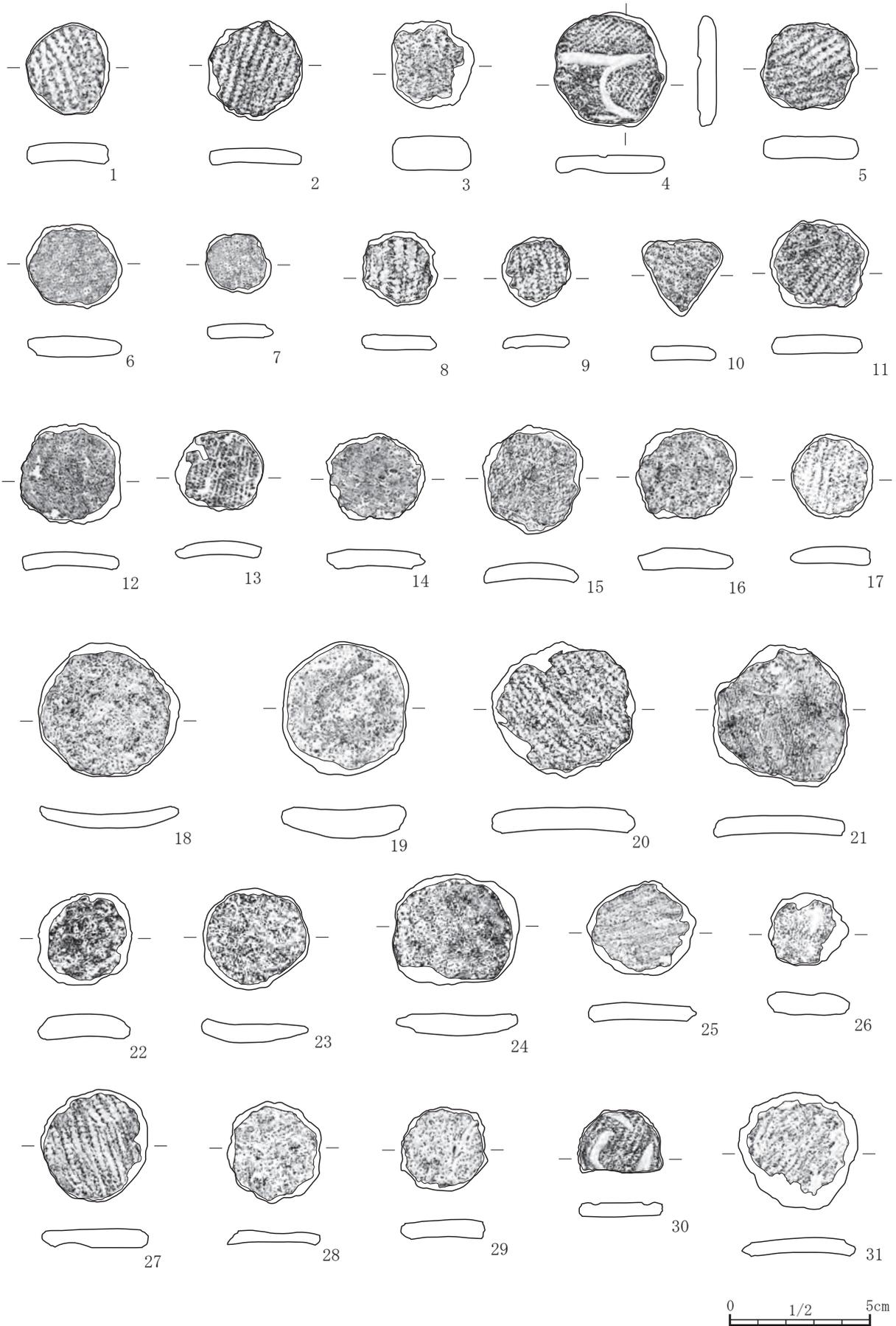
遺物図191 土製品(10) 耳飾-3・土玉・垂飾品



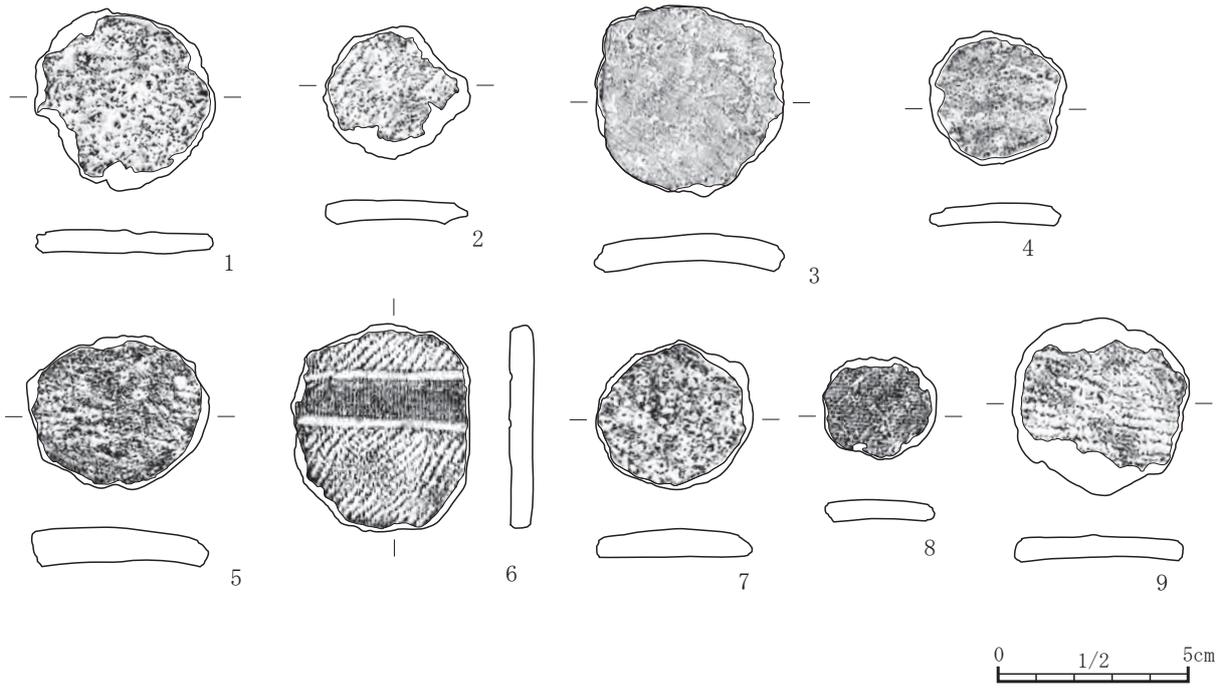
※17は欠番

0 1/2 5cm

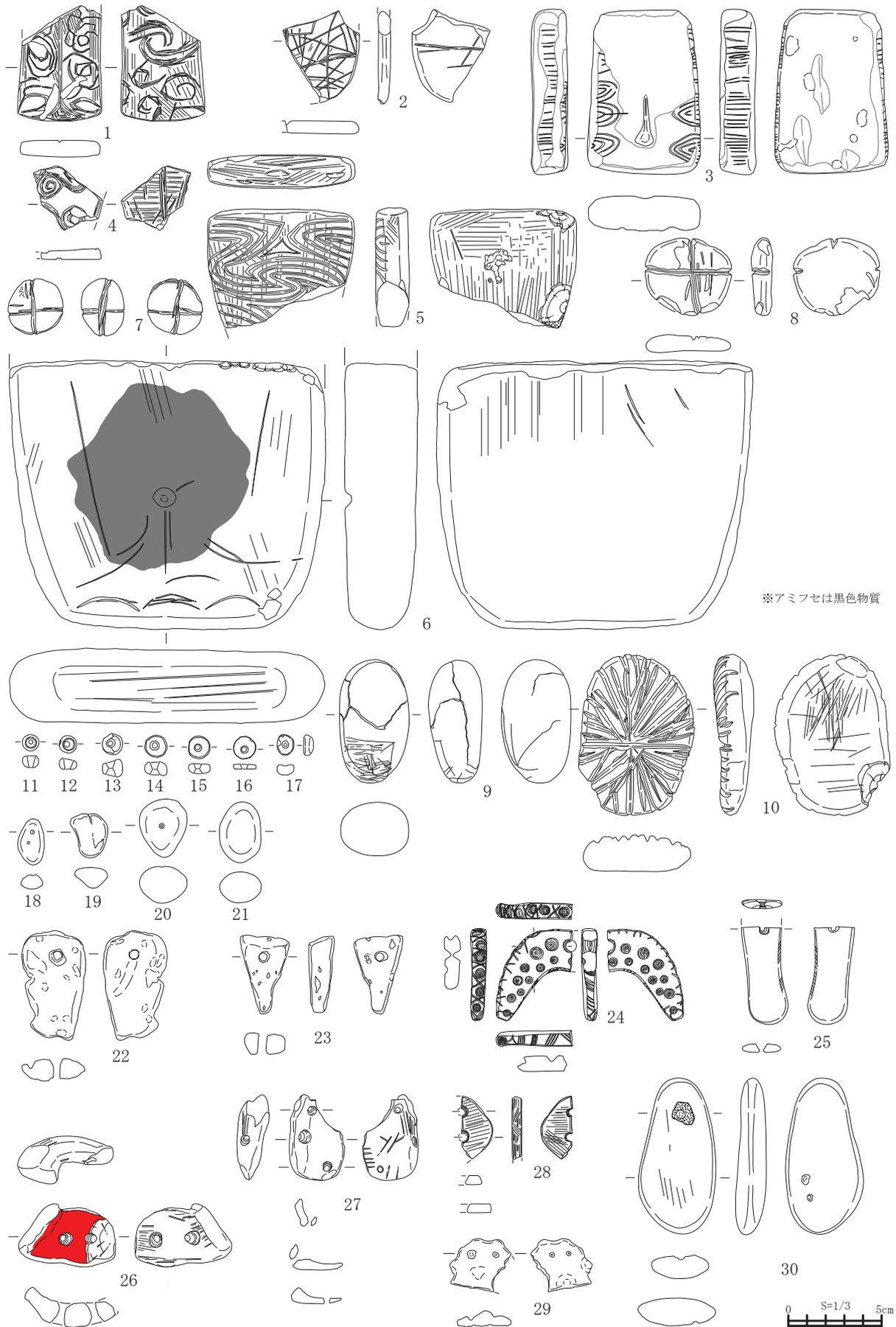
遺物図192 土製品(11) ミニチュア土器・その他



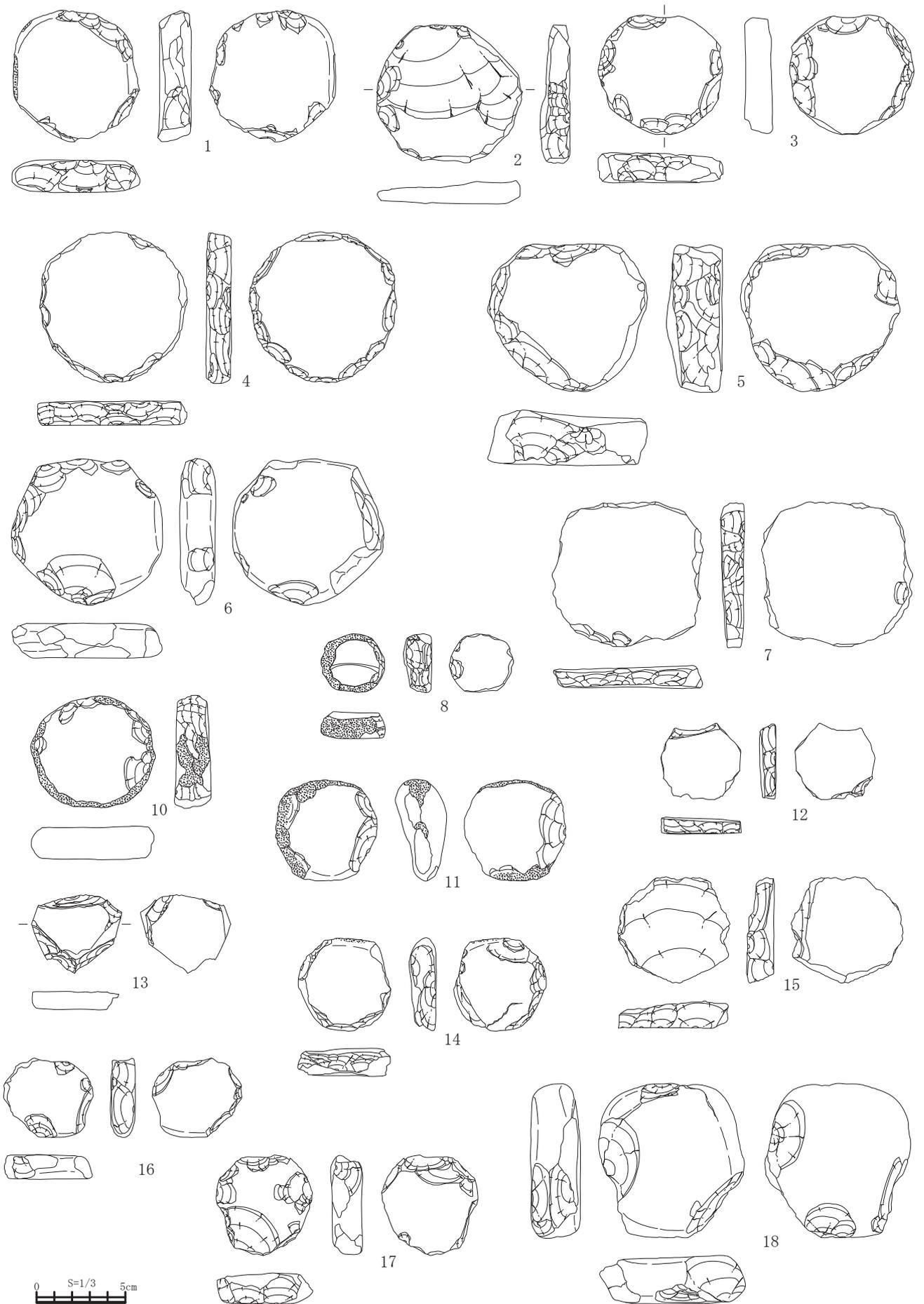
遺物図193 土製品(12) 土製円盤-1



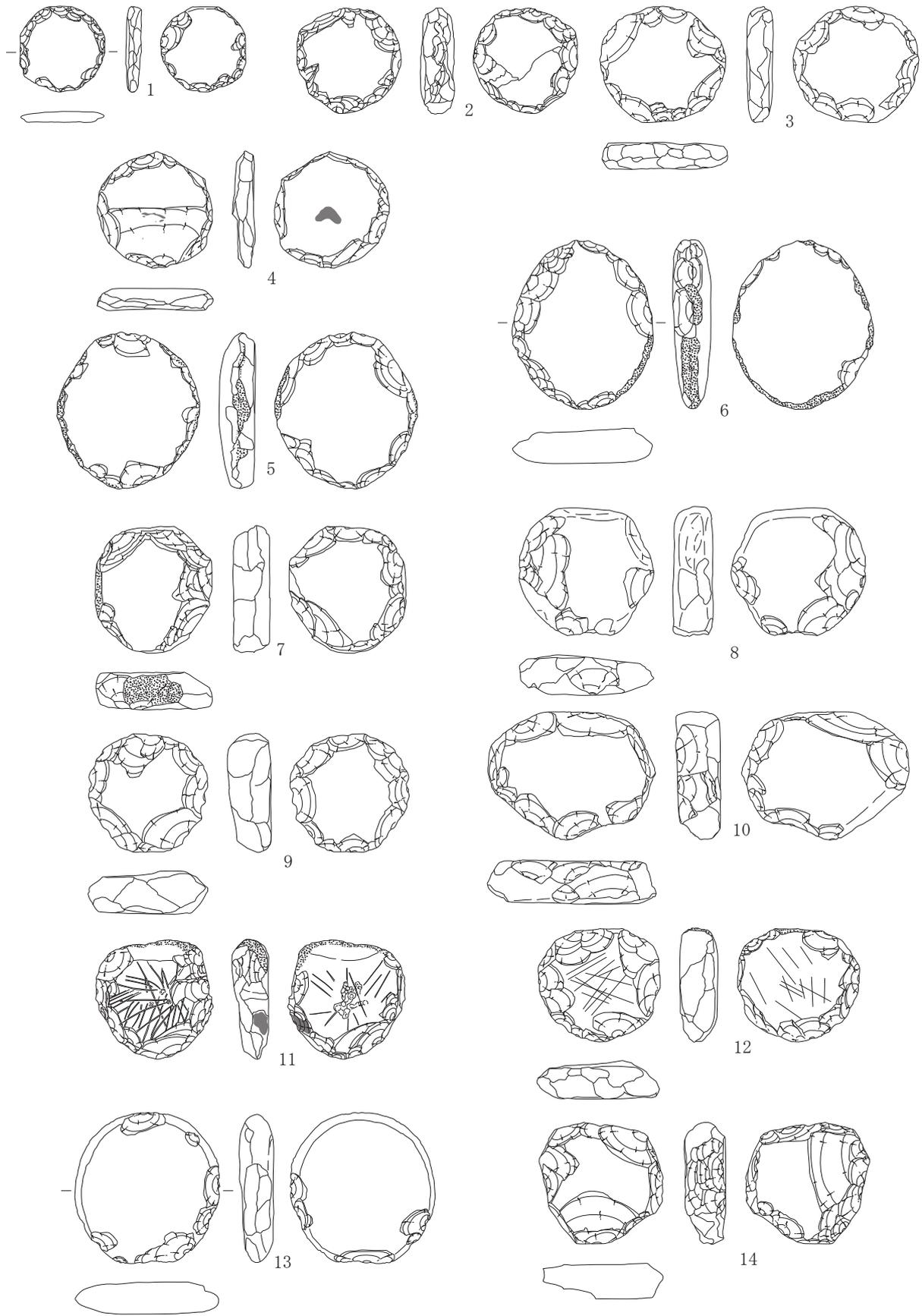
遺物図194 土製品(13) 土製円盤-2



遺物図195 石製品(1) 岩版類・有孔石製品



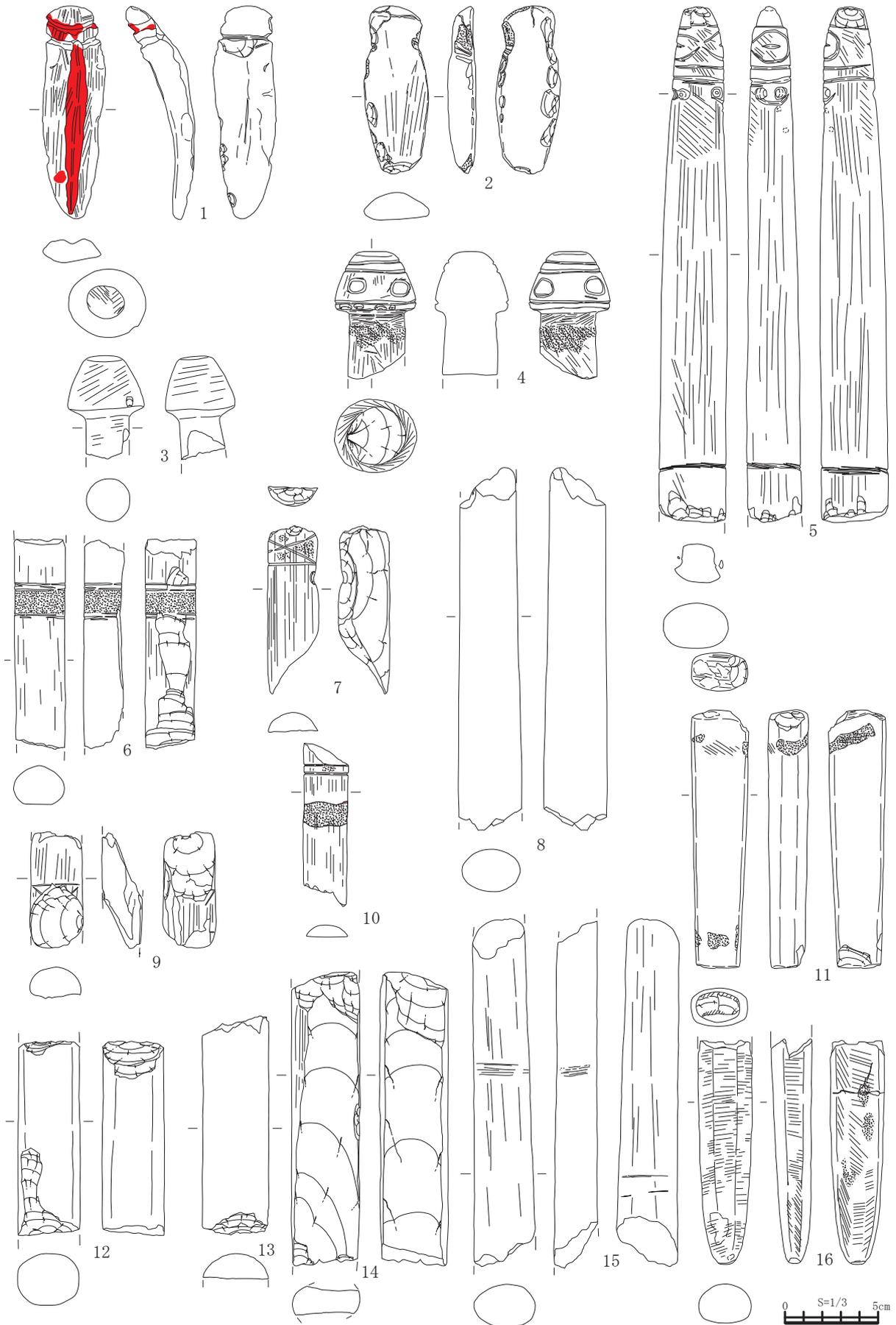
遺物図197 石製品(3) 円盤状石製品-2 (9は欠番)



※アマフセは黒色物質

0 S=1/3 5cm

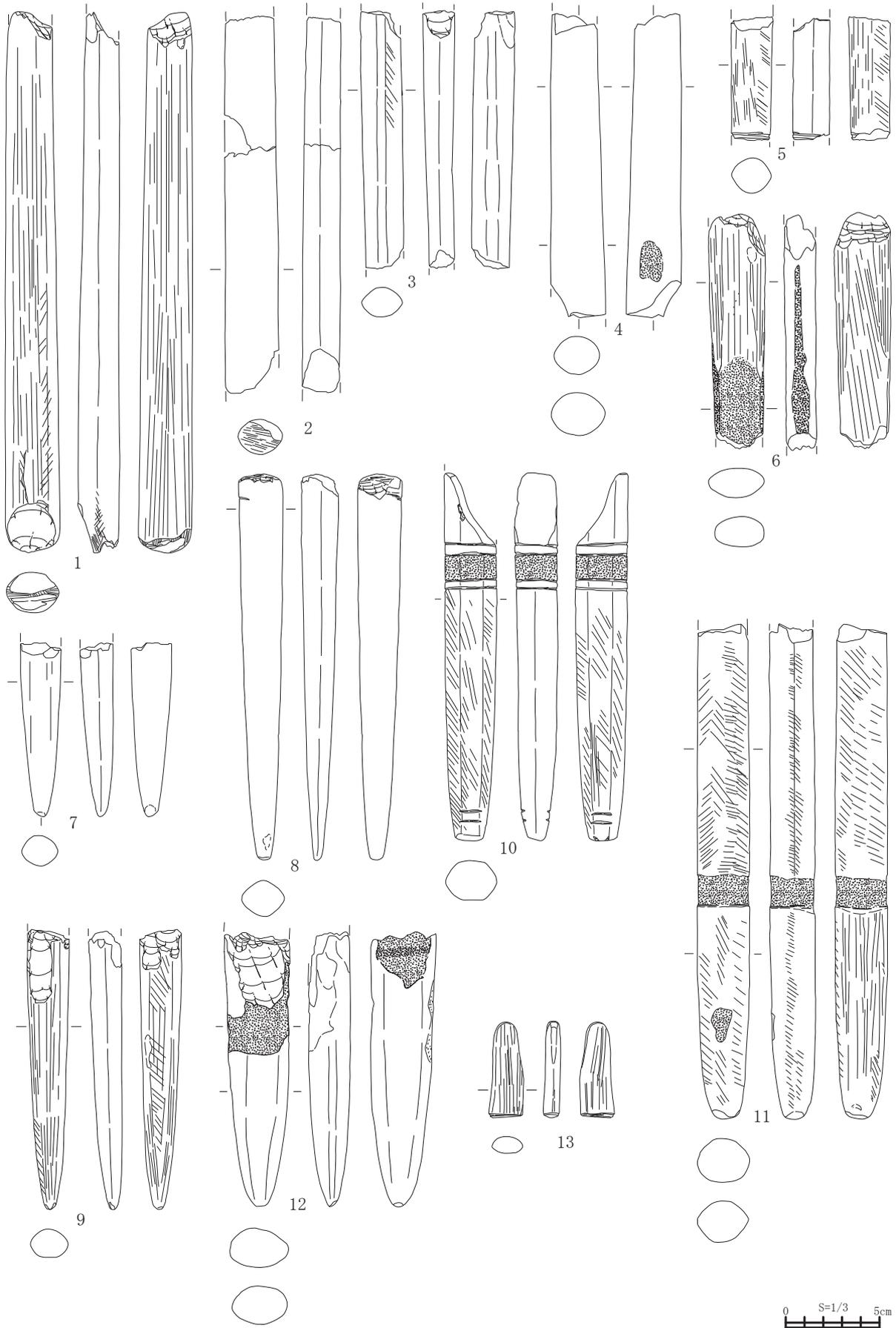
遺物図198 石製品(4) 円盤状石製品-3



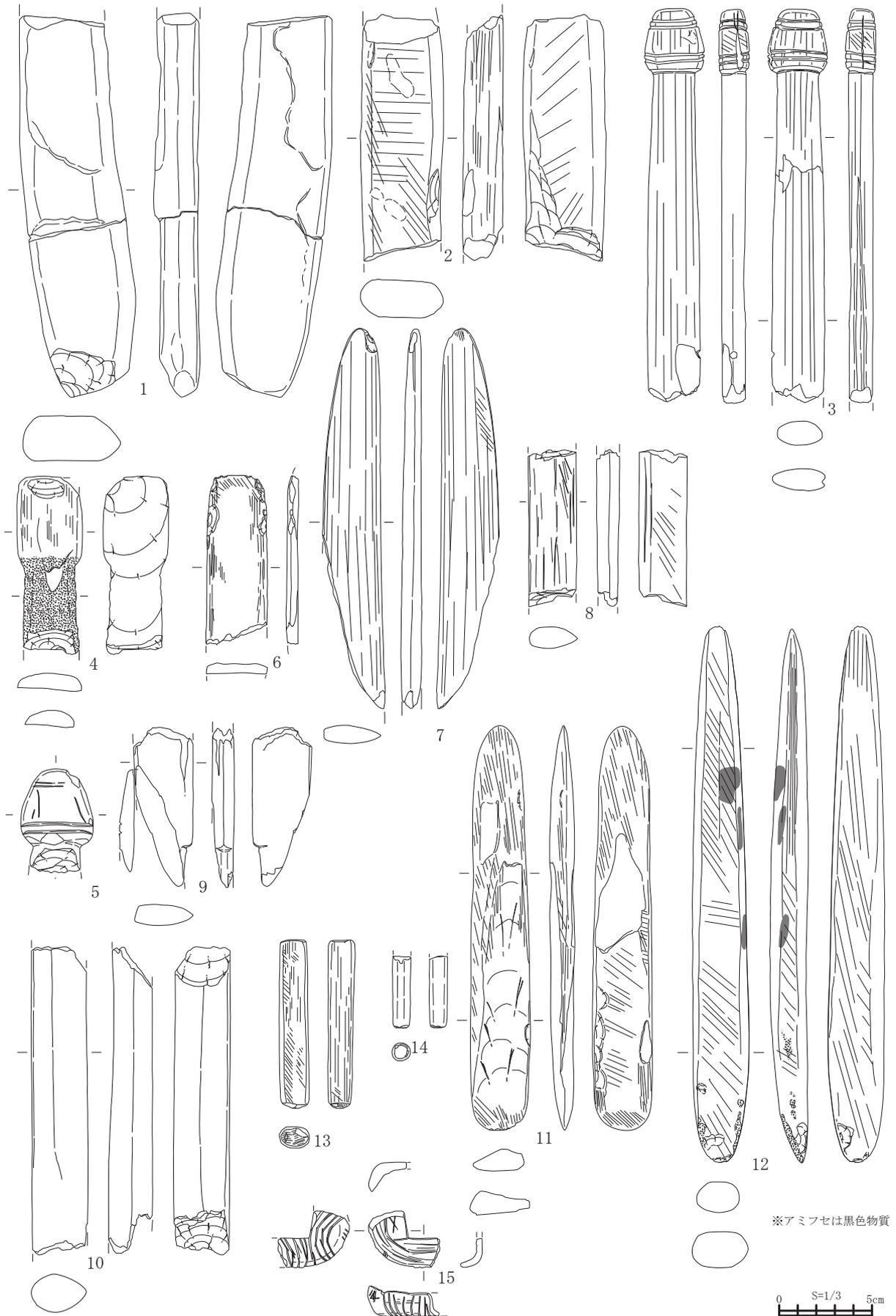
遺物図199 石製品(5) 石棒・石劍・石刀類-1



遺物図200 石製品(6) 石棒・石劍・石刀類-2



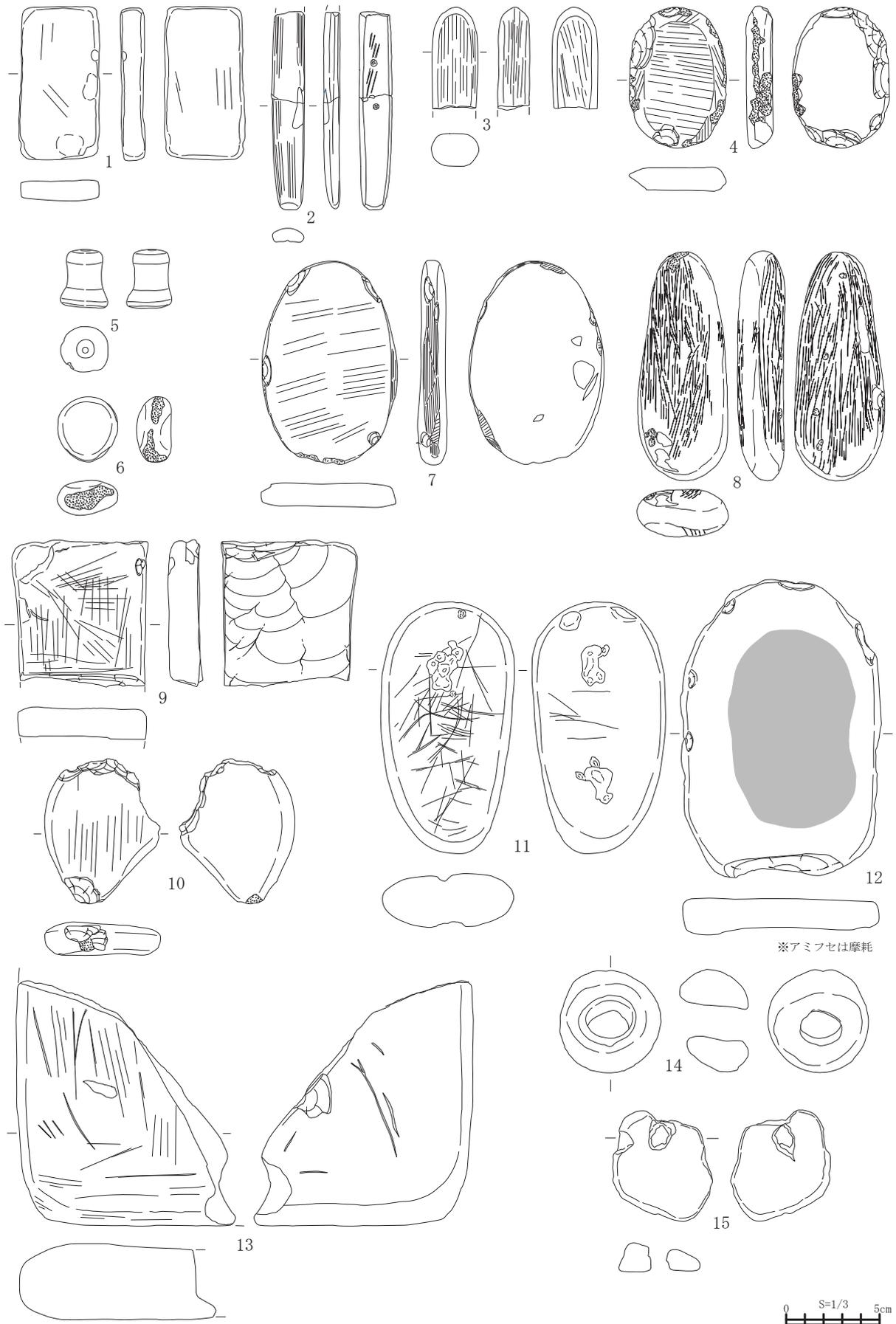
遺物図201 石製品(7) 石棒・石劍・石刀類-3



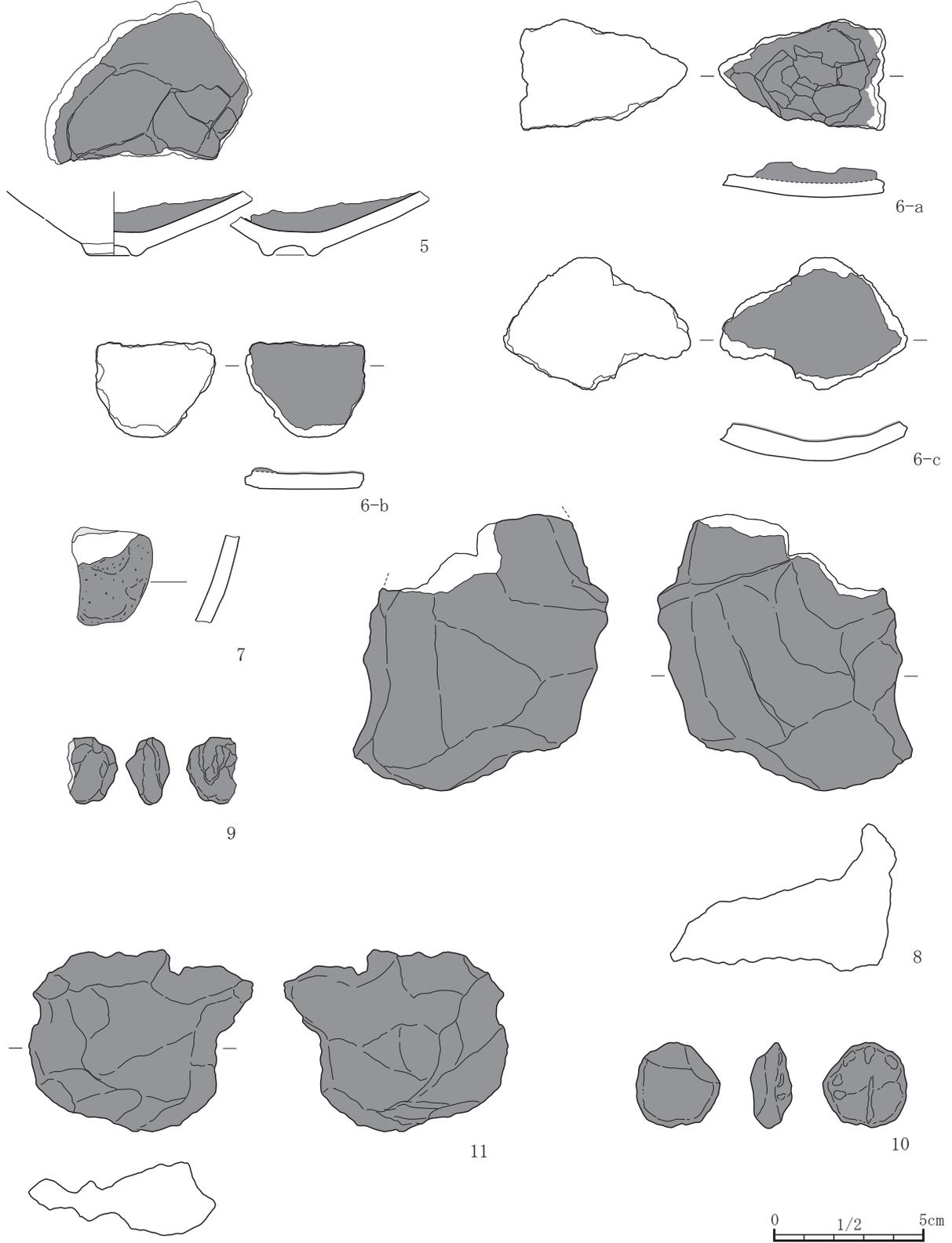
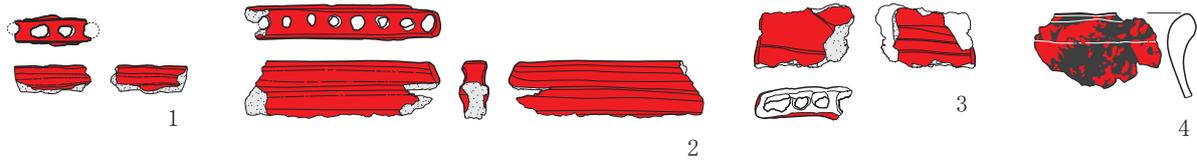
遺物図202 石製品(8) 石棒・石剣・石刀類-4・棒状石製品・石製模倣品-1



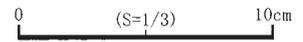
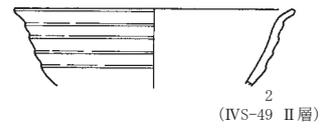
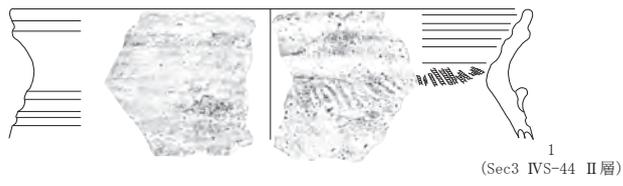
遺物図203 石製品(9) 石製模倣品-2



遺物図204 石製品(10) 擦痕の見られる石製品・自然礫利用石製品



遺物図205 漆製品・アスファルト関連遺物



遺物図206 弥生土器・土師器

報 告 書 抄 録

ふりがな	かわらたい (1) いせきに							
書名	川原平 (1) 遺跡 II							
副書名	津軽ダム建設事業に伴う遺跡発掘調査報告							
シリーズ名	青森県埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第564集							
編著者	岡本洋 笹森一朗 齋藤岳 木村高 畠山昇 高橋哲 茅野嘉雄 岩井美香子 佐々木雅裕							
編集機関	青森県埋蔵文化財調査センター							
所在地	〒038-0042 青森県青森市大字新城字天田内152-15 TEL 017-788-5701 FAX 017-788-5702							
発行機関	青森県教育委員会							
発行年月日	西暦 2016年 3月 25日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		世界測地系 (JGD2000)	調査期間	調査面積	調査原因	
かわらたい いせき 川原平(1)遺跡	あおもりけんなかつがるぐんにしめ やわらおおあざがわらたい 青森県中津軽郡西目屋村大字川原平 あざふくおかちない 字福岡地内	市町村	遺跡番号	北緯	東経	20110511 } 20111028 } 20130507 } 20131114	4,250㎡ (報告範囲)	記録保存調査
		02343	343009	40° 31' 35"	140° 13' 31"			
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
川原平(1)遺跡	集落	縄文	建物跡 6棟 焼土遺構 42基 柱穴(単独検出)225基 土坑 5基 石棺状配石(列石伴う) 3基 配石遺構 15基 土器埋設遺構 36基	縄文土器(前期～晩期) 石器 土製品 石製品 漆製品 アスファルト 焼成粘土塊 鉱物(マンガンノジュール) 赤色顔料原礫	・後期後葉～晩期後葉にかけての大規模な集落跡で、遺物が大量に出土。 ・石棺状配石はいわゆる石棺墓と同じ構造であるが、後期末葉頃に構築されたものである。 ・瘤付土器後半(青森県史による後期7-4期)～晩期初頭(晩期1a期)の土器がまとまって出土している。 ・人面付土器が複数個体出土している。			
	散布地	弥生(?)	なし	弥生土器(?)	・田舎館式並行(?)の破片1点			
	散布地	平安	なし	土師器	・坏の破片1点			
	散布地	近世以降	なし	陶磁器・土器・銭貨				
要約	<p>川原平(1)遺跡は西目屋村役場から南西約9kmに位置し、岩木川右岸の河成段丘上に立地する。</p> <p>本報告は川原平(1)遺跡に関する2冊目の報告書である。今回の報告範囲は、2011年度本調査範囲全てと、2013年度本調査範囲の一部である。また、両年度の本調査範囲には、青森県埋蔵文化財調査報告書第409集として刊行された2003年度本調査区域も含まれており、当時確認されたまま未精査だった遺構も2013年度に精査が終了し、今回の報告となっている。</p> <p>本報告の対象となった出土遺物は、段ボール箱にして土器・土製品が724箱、石器・石製品が404箱、漆製品が3箱の合計1,131箱である。遺物のほとんどは縄文時代後期後葉～晩期後葉に属する。</p> <p>本遺跡から検出された縄文時代の集落は後期後葉(青森県史による後期7-4期)～晩期後葉(晩期5期)にかけて継続して営まれており、津軽ダム建設予定地内における該期の拠点的な集落と考えられる。今回の報告範囲は遺物出土量に対して建物跡の検出数が少なく、居住域に隣接した「捨て場」であると考えられ、居住域の主体は今回報告範囲の北側に広がる。捨て場に重なるように焼土遺構や配石遺構、土器埋設遺構が検出されている。土器埋設遺構の検出数は、これまでに調査された青森県内の晩期遺跡では最多である。また、いわゆる石棺墓と類似した遺構が3基検出され、これらの構築時期が後期末葉頃と確定したのは特筆される成果である。石棺墓は青森県内で多数検出されているが、構築時期は中期末葉～後期前葉であり本遺跡とは時期が異なる。また、該期の石棺墓は改葬を前提とした一次葬施設と考えられているのに対し、本遺跡の石棺墓類似遺構は内部が埋め戻されている点で異なり、人骨も出土しないため墓と断定することができず、石棺状配石として報告した。秋田県大館市矢石館遺跡では晩期の組石棺が報告されており、本遺跡の石棺状配石は秋田県方面との関連も検討する必要がある。</p> <p>大量に出土した後期後葉～晩期後葉の遺物のなかでも、後期7-4期～晩期1a期の土器はこれまで青森県内でまとまって出土することが稀であったため、本遺跡出土資料は今後土器編年の基準としての役割を果たすものと考えられる。該期の土器付着炭化物25点については放射性炭素年代測定を実施しており、晩期開始年代を3000yrBP頃とする見通しが得られた。人面付土器も複数出土しており、その中には精巧に作られた注口土器も含まれる。</p> <p>なお、川原平(1)遺跡の発掘調査は2015年8月に完了し、今後数冊の報告書が刊行される予定である。また、放射性炭素年代測定を含め、今回報告範囲に係る自然科学分析の詳細な結果は本書には収録しておらず、今後刊行される報告書にまとめて掲載する予定である。</p>							

青森県埋蔵文化財調査報告書 第564集

川原平(1)遺跡 II

—津軽ダム建設事業に伴う遺跡発掘調査報告—
(第2分冊)

発行年月日	2016年3月25日
発行	青森県教育委員会
編集	青森県埋蔵文化財調査センター 〒038-0042 青森県青森市大字新城字天田内152番15 TEL (017) 788-5701 FAX (017) 788-5702
印刷	ワタナベサービス株式会社 〒030-0803 青森県青森市安方二丁目17-3 TEL (017) 777-1388 FAX (017) 735-5982
